

入 札 公 告

次のとおり一般競争入札に付します。

令和 7 年 2 月 2 8 日

国立研究開発法人水産研究・教育機構
水産資源研究所 管理部門長 木白 俊哉

1. 調 達 内 容

- (1) 調達件名及び数量 横浜庁舎実験機器設備保守点検業務 一式
- (2) 調達仕様 入札説明書による。
- (3) 履行期間 自) 令和 7 年 4 月 1 日
至) 令和 9 年 3 月 3 1 日
- (4) 納入場所 入札説明書による。
- (5) 入札方法 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の 100 分の 10 に相当する額を加算した金額(当該金額に 1 円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額)をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の 110 分の 100 に相当する金額を入札書に記載すること。

2. 競 争 参 加 資 格

- (1) 国立研究開発法人水産研究・教育機構契約事務取扱規程(平成 13 年 4 月 1 日付け 13 水研第 65 号)第 12 条第 1 項及び第 13 条の規定に該当しない者であること。
- (2) 令和 4・5・6 年度国立研究開発法人水産研究・教育機構競争参加資格又は全省庁統一資格の「役務の提供等契約」の業種「建物管理等各種保守管理」で「A」、「B」、「C」又は「D」いずれかの等級に格付けされている者であること。
- (3) 国立研究開発法人水産研究・教育機構理事長から物品の製造契約、物品の販売契約及び役務等契約指名停止措置要領に基づく指名停止を受けている期間中でないこと。
ただし、全省庁統一資格に格付けされている者である場合は、国の機関の同様の指名停止措置要領に基づく指名停止を受けている期間中でないこと。
- (4) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成 3 年法律第 77 号)第 32 条第 1 項各号に掲げる者でないこと。

3. 入 札 説 明 書 等 の 交 付 方 法

競争参加希望者は、以下により入札説明書等(入札説明書、入札心得書、契約書案、入札書様式、委任状様式等)の交付を受けること。

① 直接交付
神奈川県横浜市金沢区福浦 2-12-4
国立研究開発法人水産研究・教育機構
水産資源研究所 管理部門管理課
電話 045-788-7690
FAX 045-788-5001

② 宅配便着払いによる交付
任意書式に「横浜庁舎実験機器設備保守点検業務入札説明書宅配便にて希望」と記入し、社名、担当者名、住所、電話番号を記載のうえ、上記①あて FAX 送信すること。

③ メールによる交付
任意書式に「横浜庁舎実験機器設備保守点検業務入札説明書メールにて希望」と記入し、社名、担当者名、メールアドレス、電話番号を記載のうえ、上記①あて FAX 送信すること。

4. 入 札 説 明 会 の 日 時 及 び 場 所 等

仕様書等に関し質疑がある場合には、令和 7 年 3 月 1 日までに上記 3. あてにメール(アドレスは入札説明書に記載)又はファックスにて質疑を行うこと。当日までの質疑を取りまとめ、回答は入札説明書受領者全員に対して行うとともに当機構のホームページにて公表することにより入札説明会に代える。

なお、当該日以降に質疑が発生した場合も随時受け付け、同様に対応する。ただし、質疑内容に個人に関する情報であって特定の個人を識別し得る記述がある場合及び法人等の財産権等を侵害するおそれのある記述がある場合には、当該箇所を伏せ又は当該質疑を公表せず、質疑者のみに回答することがある。

5. 入札の日時及び場所等

- (1) 入札の日時及び場所 令和7年3月19日 14時00分
神奈川県横浜市金沢区福浦2-12-4
国立研究開発法人水産研究・教育機構
横浜庁舎 ビデオライブラリー室
- (2) 郵便による入札書の受領期限及び提出場所 令和7年3月19日 12時00分
3. ①に同じ。

6. その他

- (1) 契約手続きにおいて使用する言語及び通貨 日本語及び日本国通貨。
- (2) 入札保証金及び契約保証金 免除。
- (3) 入札の無効 本公告に示した競争参加資格のない者の提出した入札書及び入札に関する条件に違反した入札書は無効とする。
- (4) 契約書作成の要否 要。
- (5) 落札者の決定方法 予定価格の制限の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行った入札者を落札者とする。
ただし、落札者となるべき者の入札価格によっては、その者により当該契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められるとき、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがある著しく不相当であると認められるときは、予定価格の制限の範囲内の価格をもって入札した他の者のうち最低の価格をもって入札した者を落札者とするところがある。
- (6) 競争参加者は、入札の際に国立研究開発法人水産研究・教育機構の資格審査結果通知書写し又は全省庁統一資格の資格審査結果通知書写しを提出すること。
- (7) 詳細は入札説明書による。

7. 契約に係る情報の公表

- (1) 公表の対象となる契約先 次の①及び②いずれにも該当する契約先
① 当機構において役員を経験した者（役員経験者）が再就職していること又は課長相当職以上の職を経験した者（課長相当職以上経験者）が役員、顧問等※注1として再就職していること
② 当機構との間の取引高が、総売上高又は事業収入の3分の1以上を占めていること※注2

なお、「当機構」とは、改称前の独立行政法人水産総合研究センター及び国立研究開発法人水産総合研究センター、統合前の独立行政法人水産大学校を含みます。
※注1 「役員、顧問等」には、役員、顧問のほか、相談役その他いかなる名称を有する者であるかを問わず、経営や業務運営について、助言すること等により影響力を与えると認められる者を含む。
※注2 総売上高又は事業収入の額は、当該契約の締結日における直近の財務諸表に掲げられた額によることとし、取引高は当該財務諸表の対象事業年度における取引の実績による。

- (2) 公表する情報 上記(1)に該当する契約先について、契約ごとに、物品役務等の名称及び数量、契約締結日、契約先の名称、契約金額等と併せ、次に掲げる情報を公表する。
① 当機構の役員経験者及び課長相当職以上経験者（当機構OB）の人数、職名及び当機構における最終職名
② 当機構との間の取引高
③ 総売上高又は事業収入に占める当機構との間の取引高の割合が、次の区分のいずれか
3分の1以上2分の1未満、2分の1以上3分の2未満又は3分の2以上
④ 一者応札又は一者応募である場合はその旨

(3) 当機構に提供していただく情報

- ① 契約締結日時点で在職している当機構OBに係る情報（人数、現在の職名及び当機構における最終職名等）
- ② 直近の事業年度における総売上高又は事業収入及び当機構との間の取引高

(4) 公表日

契約締結日の翌日から起算して原則として72日以内（4月に締結した契約については原則として93日以内）

(5) その他

当機構ホームページ（契約に関する情報）に「国立研究開発法人水産研究・教育機構が行う契約に係る情報の公表について」が掲載されているのでご確認くださいとともに、所要の情報の当機構への提供及び情報の公表に同意の上で、応札若しくは応募又は契約の締結を行っていただくようご理解とご協力をお願いいたします。また、応募又は契約の締結をもって同意されたものとみなさせていただきますので、ご了承ください。

8. 公的研究費の不正防止にかかる「誓約書」の提出について

当機構では、国より示された「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」（平成19年2月15日文部科学大臣決定）に沿って、公的研究費の契約等における不正防止の取り組みを行っており、取り組みのひとつとして、取引先の皆様に「国立研究開発法人水産研究・教育機構との契約等にあたっての注意事項」（URL：http://www.fra.affrc.go.jp/keiyaku/pledge_request/note_contract.pdf）をご理解いただき、一定金額以上の契約に際して、当該注意事項を遵守する旨の「誓約書」の提出をお願いしています。公的研究費の不正防止関係書類（①公的研究費の不正防止にかかる「誓約書」の提出について、②国立研究開発法人水産研究・教育機構との契約等にあたっての注意事項、③誓約書）は、入札説明書に添付しますので、契約相手方となった場合は、誓約書の提出をお願いします。

なお、当機構の本部、研究所、開発調査センター、水産大学校いずれか1箇所に1回提出していただければ、当機構内の次回以降の契約では再提出する必要はありません。

国立研究開発法人 水産研究・教育機構

横浜庁舎実験機器設備保守点検業務

仕 様 書

令和 7-8 年度

横浜庁舎管理部門管理課

< 目 次 >

業務仕様書	2
第1編 一般共通事項	3
第1章 一般事項	
第1節 一般事項	4
第2節 業務現場管理及び実施	6
第3節 業務に伴う廃棄物の処理及び検査	7
第2編 定期点検及び保守	8
第1章 一般事項	
第1節 一般事項	9
第2章 実験機器設備	11

業務仕様書

1. 件名 横浜庁舎実験機器設備保守点検業務
2. 業務目的 本業務は、横浜庁舎に設置してある水温調節設備、恒温恒湿室について、研究業務に支障を来さぬよう常に適正な機能を維持するため点検整備、保守及び異常時の応急処置を行うことを目的とする。
3. 業務場所 神奈川県横浜市金沢区福浦2-12-4
国立研究開発法人水産研究・教育機構 横浜庁舎
4. 業務期間 自) 令和 7年 4月 1日
至) 令和 9年 3月 31日 } (2年間)
5. 特記仕様
 - 1) 本業務の実施に当たっては、既存設備又は他の物品等に損害を及ぼさないよう十分注意し、万一損害等を与えた場合には直ちに監督職員に報告し、その指示に従い修復する。
なお、これにかかる費用はすべて請負者の負担とする。
 - 2) 設備の故障等の緊急時には、深夜及び休日を問わず、1時間以内に対応できる体制を構築し、責任を持って復旧作業にあたることとし、場合によっては製造メーカー等へ連絡し、助言を受けるものとする。

第 1 編 一般共通事項

第1章 一般事項

第1節 一般事項

1.1.1 適用	<p>(a) 本仕様書（以下「仕様書」という。）は、実験機器及びその附帯施設（以下「実験機器等」という。）の定期点検、臨時点検、日常点検、保守、運転・監視、清掃に適用する。</p> <p>(b) 仕様書に規定する事項は、別の定めがある場合を除き、請負者の責任において履行すべきものとする。</p> <p>(c) すべての契約図書は、相互に補完する。但し、契約図書間に相違がある場合の優先順位は、次の(1)から(3)の順番とする。</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 契約書(2) 仕様書（主要機器リスト等、参考図面を含む）(3) 共通仕様書（国土交通省大臣官房官庁営繕部 建築保全業務共通仕様書令和5年版）
1.1.2 用語の定義	<p>仕様書において用いる用語の定義は、次によるほか、各編の用語の定義による。</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 監督職員とは、建築物等の管理に携わる者で、保全業務の監督を行うことを発注者が指定した者をいう。(2) 「請負者等」とは、当該業務契約の請負又は契約書の規定により定めた請負者側の業務責任者をいう。(3) 「業務責任者」とは、契約書に規定する業務責任者をいい、業務を総合的に把握し、業務を円滑に実施するために監督職員との連絡調整を行う者で、現場における請負者側の責任者をいう。(4) 「業務担当者」とは、業務責任者の指揮により業務を実施するもので、現場における請負者側の担当者をいう。(5) 「監督職員の承諾」とは、請負者等が監督職員に対し書面で申し出た事項について、監督職員が書面をもって了解することをいう。(6) 「監督職員の指示」とは、監督職員が受注者等に対し業務の実施上必要な事項を、書面によって示すことをいう。(7) 「監督職員の協議」とは、協議事項について、監督職員と請負者等とが結論を得るために合議し、その結果を書面に残すことをいう。(8) 「監督職員の検査」とは、業務の各段階で、請負者が実施した結果等について提出した資料に基づき、監督職員が業務仕様書との適否を確認することをいう。(9) 「作業」とは、本仕様書で定める実験機器等の定期検査、日常点検、保守、運転・監視、清掃に当たることをいう。(10) 「点検」とは、実験機器等の部分について、損傷、変形、腐食、異臭その他の異常の有無を調査することをいい、保守又はその他の措置が必要か否かの判断を行うことをいう。

	<p>(11)「定期点検」とは、当該点検を実施するために必要な資格又は特別な専門的知識を有する者が定期的に行う点検をいい、性能点検、月例点検、シーズンイン点検、シーズンオン点検及びシーズンオフ点検を含めていう。</p> <p>(12)「臨時点検」とは、当該点検を実施するために必要な資格又は特別な専門的知識を有する者が、台風、暴風雨、地震等の災害発生直後及び不具合発生時等に臨時に行う点検をいう。</p> <p>(13)「日常点検」とは、目視、聴音、触接等の簡易な方法により、巡回しながら日常的に行う点検をいう。</p> <p>(14)「保守」とは、点検の結果に基づき実験機器等の機能の回復又は危険の防止のために行う消耗部品の取替え、注油、塗装その他これらに類する軽微な作業をいう。</p> <p>(15)「運転・監視」とは、施設運営条件に基づき、実験設備を稼働させ、その状況を監視し、制御することをいう。</p> <p>(16)「清掃」とは、汚れを除去すること及び汚れを予防することにより仕上材を保護し、快適な環境を保つための作業をいう。</p> <p>1.1.3 業務計画書 (a)業務責任者は、業務の実施に先立ち、実施体制、実施日時、全体工程、作業内容、安全管理等、必要な事項を総合的にまとめた業務計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。 (b)業務関係者が施設に常駐して行う業務においては、請負者は業務関係者の労務管理について適切に行うよう計画する。</p> <p>1.1.4 貸与資料 点検対象の設備機器等に備え付けの図面、取扱説明書等は使用することができる。ただし、作業終了後は、現状に復すものとする。</p> <p>1.1.5 業務の記録 監督職員と協議した結果及び業務の全般的な経過を記載した記録を整備し、監督職員より請求された場合は、提出又は提示する。</p> <p>1.1.6 報告書の書式等 保守点検整備実施報告及び写真を撮影し、取りまとめた報告書1部を提出すること。 なお、写真サイズ、様式等は監督職員の指示によること。 (1)保守点検業務報告書 (2)完成図書及び写真類</p> <p>1.1.7 関係法令等の遵守 業務の実施に当たり、適用を受ける関係法令等を遵守し、業務の円滑な遂行を図ること。</p>
--	---

第2節 業務現場管理及び実施

1.2.1 業務管理	契約図書に適合する業務を完了させるために、業務管理体制を確立し、品質、工程、安全等の業務管理を行う。
1.2.2 業務責任者	(a) 請負者は、業務責任者を定め監督職員に届け出る。また、業務責任者を変更した場合も同様とする。 (b) 業務責任者は、業務担当者に作業内容及び監督職員の指示事項等を伝え、その周知徹底を図る。 (c) 業務責任者は、業務担当者以上の経験、知識及び技能を有する者とする。なお、業務責任者は業務担当者を兼ねることができる。
1.2.3 業務担当者	(a) 業務担当者は、その作業等の内容に応じ、必要な知識及び技能を有すること。 (b) 法令により作業等を行う者の資格が定められている場合は、当該資格を有する者が当該作業等を行う。
1.2.4 代替要員	業務内容により代替要員を必要とする場合、あらかじめ監督職員に報告し、承諾を得ること。
1.2.5 服装等	業務関係者は、業務及び作業に適した服装、履物で業務を実施する。
1.2.6 業務条件	(a) 業務を行う日及び時間は、監督職員と協議する。 (b) 業務日、業務時間を変更する必要がある場合には、あらかじめ監督職員の承認を受ける。
1.2.7 業務の安全衛生管理	業務担当者の労働安全衛生に関する労務管理については、業務責任者がその責任者となり、関係法令に従って行う。
1.2.8 居室、共用施設の利用	共用物は、監督職員の承諾を受け、業務責任者の管理のもと、これらを使用する。また、建物内の便所、エレベーター等の一般共用施設は、利用することができる。
1.2.9 駐車場の利用	施設の駐車場の利用の可否については、監督職員の指示による。
1.2.10 火気の手扱い	作業等に際し、原則として火気は使用しない。火気を使用する場合は、あらかじめ監督職員の承諾を得るものとし、その取扱いに際しては十分注意する。
1.2.11 危険物等の取扱い	業務で使用するガソリン、薬品、その他の危険物の取扱いは、関係法令等による。
1.2.12 別契約の業務等	業務に密接に関連する別契約の有無は、監督職員と協議しその指示に従い、円滑に業務を実施する。

第3節 業務に伴う廃棄物の処理及び検査

1.3.1 廃棄物の処理等	(a) 業務の実施に伴い発生した廃棄物の処理に係る費用は、原則として請負者の負担とする。 (b) 発生材の保管場所及び集積場所は、監督職員の指示に従う。
1.3.2 産業廃棄物等	業務の実施に伴い発生した産業廃棄物は、積み込みから最終処分まで産業廃棄物処理業者に委託し、産業廃棄物管理表（マニフェスト）の交付等を経て適正に処理する。
1.3.3 業務の検査	請負者は、契約書に基づき、その支払に係る請求を行うときは次の書類を提出し、発注者の指定した者が行う業務の検査を受けること。 (1) 業務完了報告書

第2編 定期点検及び保守

第1章 一般事項

第1節 一般事項

1.1.1 適用	本編は、実験機器等の定期点検、臨時点検及び保守に関する業務に適用する。
1.1.2 点検の範囲	(a) 定期点検及び臨時点検の対象部分、数量等は、仕様書による。 (b) 対象部分について本編各表に示す点検内容を実施し、その結果について報告する。なお、対象部分以外であっても、異常を発見した場合には、監督職員に報告する。 (c) 点検周期が1年を超える点検内容の実施は、仕様書による。
1.1.3 保守の範囲	定期点検及び臨時点検の結果に応じ実施する保守の範囲は、次のとおりとする。 (1) 汚れ、詰まり、付着等がある部分又は点検部の清掃 (2) 取付け不良、作動不良、ずれ等がある場合の調整 (3) ボルト、ねじ等で緩みがある場合の増し締め (4) 消耗部品の交換又は補充 (5) 接触部分、回転部分等への注油 (6) 軽微な損傷がある部分の補修 (7) 塗装（タッチペイント） (8) その他これらに類する軽微な作業
1.1.4 点検の実施	(a) 点検を行う場合には、あらかじめ監督職員から劣化及び故障状況を聴取し点検の参考とする。 (b) 点検は、原則として目視、触接又は軽打等により行う。 (c) 測定を行う点検は、定められた測定機器又は当該事項専用の測定機器を使用する。 (d) 異常を発見した場合には、同様な異常の発生が予想される箇所の点検を行う。
1.1.5 周期の表記	定期点検の周期の表記は、次による。 (1) 1回／1週 は、1週に1回行うものとする。 (2) 1回／2週 は、2週に1回行うものとする。 (3) 1回／1月 は、1月に1回行うものとする。 (4) 1回／2月 は、2月に1回行うものとする。 (5) 1回／3月 は、3月に1回行うものとする。 (6) 1回／4月 は、4月に1回行うものとする。 (7) 1回／6月 は、6月に1回行うものとする。 (8) 2回／1年 は、1年に2回行うものとする。

	<p>(9) 1回／1年 は、1年に1回行うものとする。</p> <p>(10) 1回／2年 は、2年に1回行うものとする。</p>
1.1.6 支給材料	<p>保守に用いる消耗品、付属品等は、特記がある場合を除き、当所より支給するものとする。</p>
1.1.7 応急措置等	<p>(a) 点検の結果、対象部分に脱落や落下又は転倒の恐れがある場合、また、継続使用することにより著しい損傷又は関連部材・機器等に影響を及ぼすことが想定される場合は、簡易な方法により応急措置を講じるとともに、速やかに監督職員に報告する。</p> <p>(b) 落下、飛散等の恐れがあるものについては、その区域を立入禁止にする等の危険防止措置を講じるとともに、速やかに監督職員に報告する。</p> <p>(c) 応急措置、危険防止措置にかかる費用は、監督職員との協議による。</p> <p>(d) 応急措置を行った後は、監督職員に報告書を提出すること。</p>
1.1.8 点検の省略	<p>次に掲げる部分は、点検を省略することができる。ただし、特記がある場合はこの限りでない。</p> <p>(1) 容易に出入りできる点検口のない床下又は天井裏にあるもの。</p> <p>(2) 配管又は配線のための室、屋上その他にある機器で、容易に出入りできない場所にあるもの。</p> <p>(3) 電気の通電又は運転を停止することが極めて困難な状況にあるもの及びその付近にあるもので、点検することが危険であるもの。</p> <p>(4) 地中若しくはコンクリートその他の中に埋設されているもの。</p> <p>(5) 足場のない給気又は排気のための塔。</p> <p>(6) ロッカー、家具等があり点検不可能なもの。</p>
1.1.9 点検及び保守に伴う注意事項	<p>(a) 点検及び保守の実施の結果、対象部分を現状より悪化させてはならない。</p> <p>(b) 点検及び保守の実施に当たり、仕上材、構造材等の一部撤去又は損傷を伴う場合には、あらかじめ監督職員の承諾を受ける。</p>
1.1.10 連絡体制等	<p>深夜・休日等の緊急事態の連絡体制を整備する。</p>

点 検 項 目	点 検 内 容	周 期	備 考
2. 冷却加熱ユニット	3) 制御盤関係 <ul style="list-style-type: none"> ・電圧計動作 ・電流計動作 ・表示灯、ヒューズ切れ ・マグネットスイッチ、接点状態 ・マグネットスイッチ、リレーの端子増し締め ・操作回路絶縁状態 ・ブザー音色 	1回/1年	
	(1) 点検機器及び点検内容 主要機器リスト等にある機器を点検する。点検項目は下記のとおりとする。 1) 調温水ポンプ <ul style="list-style-type: none"> ・振動、異常音、磨耗 ・絶縁抵抗 ・運転電流 	1回/1年	
	2) 電気ヒータ <ul style="list-style-type: none"> ・絶縁抵抗 ・運転電流 	1回/1年	
	3) 冷凍機ユニット <ul style="list-style-type: none"> ・コンプレッサーの騒音、異常振動 ・空冷コンデンサーの汚れ、目詰まり、異常振動、ファンの異音、清掃 ・運転状態 ・圧力スイッチ作動確認 ・冷媒量のチェック ・サイトグラス、ドライヤー ・オイル量及び汚れ ・絶縁抵抗 ・運転電流 ・マグネットスイッチ接点状態 ・マグネットスイッチ、リレーの端子増し締め 	1回/1年	
4) 調温水槽 <ul style="list-style-type: none"> ・水槽内の汚れ、清掃 ・ボールタップ状態 ・フロート ・水漏れ ・流量計の作動状態及び汚れ、清掃 	1回/1年		

点 検 項 目	点 検 内 容	周 期	備 考
3. グロースキャビネット	5) 操作盤 ・表示灯、ヒューズ切れ ・マグネットスイッチ接点状態 ・調節計等の作動確認 ・漏電ブレーカー ・マグネットスイッチ、リレーの端子増し締め ・操作回路絶縁抵抗 ・ケーシング、盤類の汚れ及び錆、清掃	1回/1年	
	6) 殺菌灯 ・ユニット内の腐食、清掃 ・球及び点灯管の状態	1回/1年	
	(1) 点検機器及び点検内容 主要機器リスト等にある機器を点検する。点検項目は下記のとおりとする。		
	1) 冷凍機ユニット ・コンプレッサーの騒音、異常振動 ・空冷コンデンサーの汚れ、目詰まり、異常振動、ファンの異音、清掃 ・運転状態 ・圧力スイッチ作動確認 ・冷媒量のチェック ・サイトグラス、ドライヤー ・オイル量及び汚れ ・絶縁抵抗 ・運転電流 ・マグネットスイッチ接点状態 ・マグネットスイッチ、リレーの端子増し締め	1回/1年	
	2) 送風機 ・騒音、異常振動 ・回転方向 ・絶縁抵抗 ・運転電流	1回/1年	
	3) 電気ヒータ ・絶縁抵抗 ・運転電流	1回/1年	

点 検 項 目	点 検 内 容	周 期	備 考
4. 稚魚行動実験ユニット	4) 蛍光灯 ・作動状態 ・絶縁抵抗 ・運転電流	1回/1年	
	5) 操作盤 ・表示灯、ヒューズ切れ ・マグネットスイッチ接点状態 ・調節計等の作動 ・漏電ブレーカー ・マグネットスイッチ、リレーの端子増し締め ・操作回路絶縁抵抗	1回/1年	
	6) 吸込みフィルタ ・汚れ、目詰まり、清掃	1回/1年	
	(1) 点検機器及び点検内容 主要機器リスト等にある機器を点検する。点検項目は下記のとおりとする。		
	1) 操作盤 ・表示灯、ヒューズ切れ ・マグネットスイッチ接点状態 ・調節計等の作動 ・漏電ブレーカー ・マグネットスイッチ、リレーの端子増し締め ・操作回路絶縁抵抗	1回/1年	
	2) 給気ユニット ・異音、異常振動 ・絶縁抵抗 ・運転電流	1回/1年	
5. 淡水調温水槽	3) 排気ユニット ・異音、異常振動 ・絶縁抵抗 ・運転電流	1回/1年	
	4) 照明 ・蛍光灯の状態	1回/1年	
	(1) 淡水B系統の調温水槽について、内部の淡水を抜き、高圧ジェット洗浄する。 ・調温水槽 B	1回/2年	R8年度実施

点 検 項 目	点 検 内 容	周 期	備 考
6. 淡水循環用貯水槽	<p>(2) 上記、清掃後は淡水を補給し、正常に水温調節設備が稼働することを確認する。</p> <p>(1) 淡水B系統の循環用貯水槽及び排水槽について内部の淡水を抜き、高圧ジェット洗浄する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・循環用貯水槽 B ・排水槽 <p>(2) 上記、清掃後は淡水を補給し、循環用貯水槽に関連する設備が正常に稼働することを確認する。</p>	1 回／2 年	R7 年度実施
<p>〈恒温恒湿室関係〉</p> <p>1. クリーンルーム Z-1～Z-3</p>	<p>(1) 点検機器及び点検内容 主要機器リスト等にある機器を点検する。点検項目は下記のとおりとする。また、各冷却コイル、加熱コイルを清掃するものとする。</p> <p>1) 冷凍機</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷凍サイクル ・高圧、低圧圧力 ・温度 ・冷媒量 ・冷凍機油 ・絶縁抵抗、電流、電圧 ・腐食損傷状況 ・外観点検 ・運転状況 <p>2) 空気調和機</p> <ul style="list-style-type: none"> ・送風機 ・電気ヒーター ・吸気ファン ・ドレンパン点検 ・通水確認 ・ベアリング、Vベルト、張り調整 ・加湿器清掃 ・絶縁抵抗、電流、電圧 ・腐食損傷状況 	2 回／1 年	

点 検 項 目	点 検 内 容	周 期	備 考
2. 精密可変低温室 Z-6～Z-8	<ul style="list-style-type: none"> ・外観点検 ・運転状況 ・フィルタ差圧 <p>(1) 点検機器及び点検内容 主要機器リスト等にある機器を点検する。点検項目は下記のとおりとする。</p> <p>1) 電装関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動力回路絶縁 ・操作回路絶縁 ・表示灯及びヒューズ切れ ・マグネットスイッチ接点状態 ・調節計、上下温度リミッター等動作確認 ・漏電ブレーカーチェック ・マグネットスイッチ、リレーの端子増し締め ・ケーシングの汚れ及び錆、清掃 ・温度センサー及び湿度センサー <p>2) 照明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白熱灯の球切れ及び状態 <p>3) 給気、排気及びフィルタ関係（設置の場合）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給気、排気フィルタの状態 ・給気フィルタの差圧（プレフィルタ及びHEPAフィルタ） ・排気フィルタの差圧（プレフィルタ及びHEPAフィルタ） ・循環用プレフィルタ <p>4) 空調機、冷凍機ユニット及びリモートコンデ ンサー関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・騒音及び異常振動 ・コンデンサーファンの目詰まり、清掃 ・コンデンサーファンの異音 ・圧力スイッチの作動状態 ・冷媒量のチェック ・オイル量及び汚れ具合 ・ガス漏れチェック ・冷凍機運転圧力 	<p>2回/1年</p> <p>2回/1年</p> <p>2回/1年</p> <p>2回/1年</p>	

点 検 項 目	点 検 内 容	周 期	備 考
3. 恒温恒湿庫、 低温庫 Z-13、 Z-14 4. 恒温恒湿室 Z-15～ Z-24	5) 加湿器（設置の場合）	2回/1年	
	<ul style="list-style-type: none"> ・水槽の汚れ、清掃 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・電極の状態 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・作動状態 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・給水ストレーナの清掃 		
	6) 給排水配管（設置の場合）	2回/1年	
	<ul style="list-style-type: none"> ・バルブストレーナ 		
	7) 内、外装	2回/1年	
	<ul style="list-style-type: none"> ・パネル、扉、パッキン 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・塗装、錆 		
8) 総合運転状態	2回/1年		
(2) 加湿器分解清掃	1回/1年		
Z-7の加湿器（2台）を分解し、清掃を行う。			
(1) 点検機器及び点検内容	2回/1年		
主要機器リスト等にある機器を点検する。点検項目は上記（Z-6～Z-8の点検項目）のとおりとする。			
(1) 点検機器及び点検内容	2回/1年		
主要機器リスト等にある機器を点検する。点検項目は上記（Z-6～Z-8の点検項目）のとおりとする。			
(2) 加湿器分解清掃	2回/1年		
Z-19及びZ-20の加湿器（計4台）を分解し、清掃を行う。			

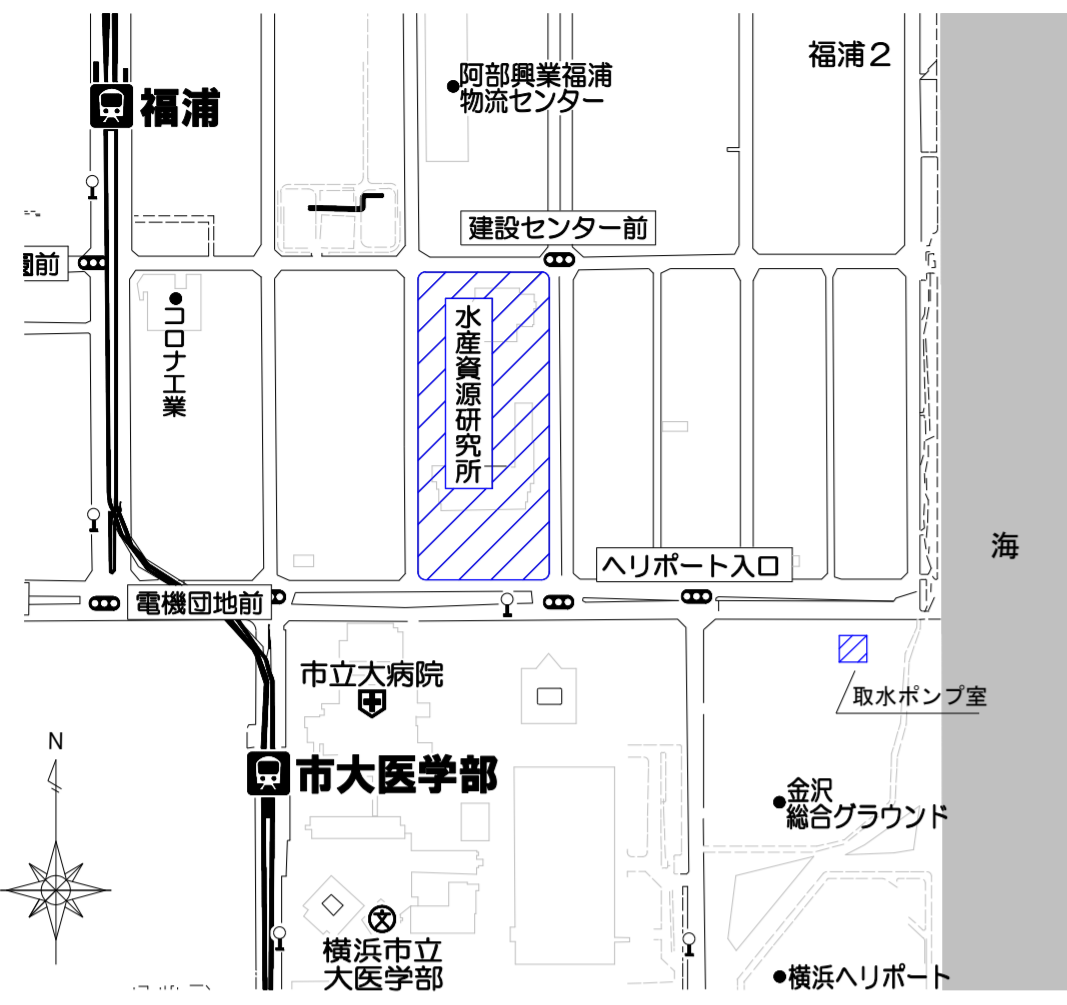
国立研究開発法人水産研究・教育機構

横浜庁舎実験機器設備保守点検業務

参考図面

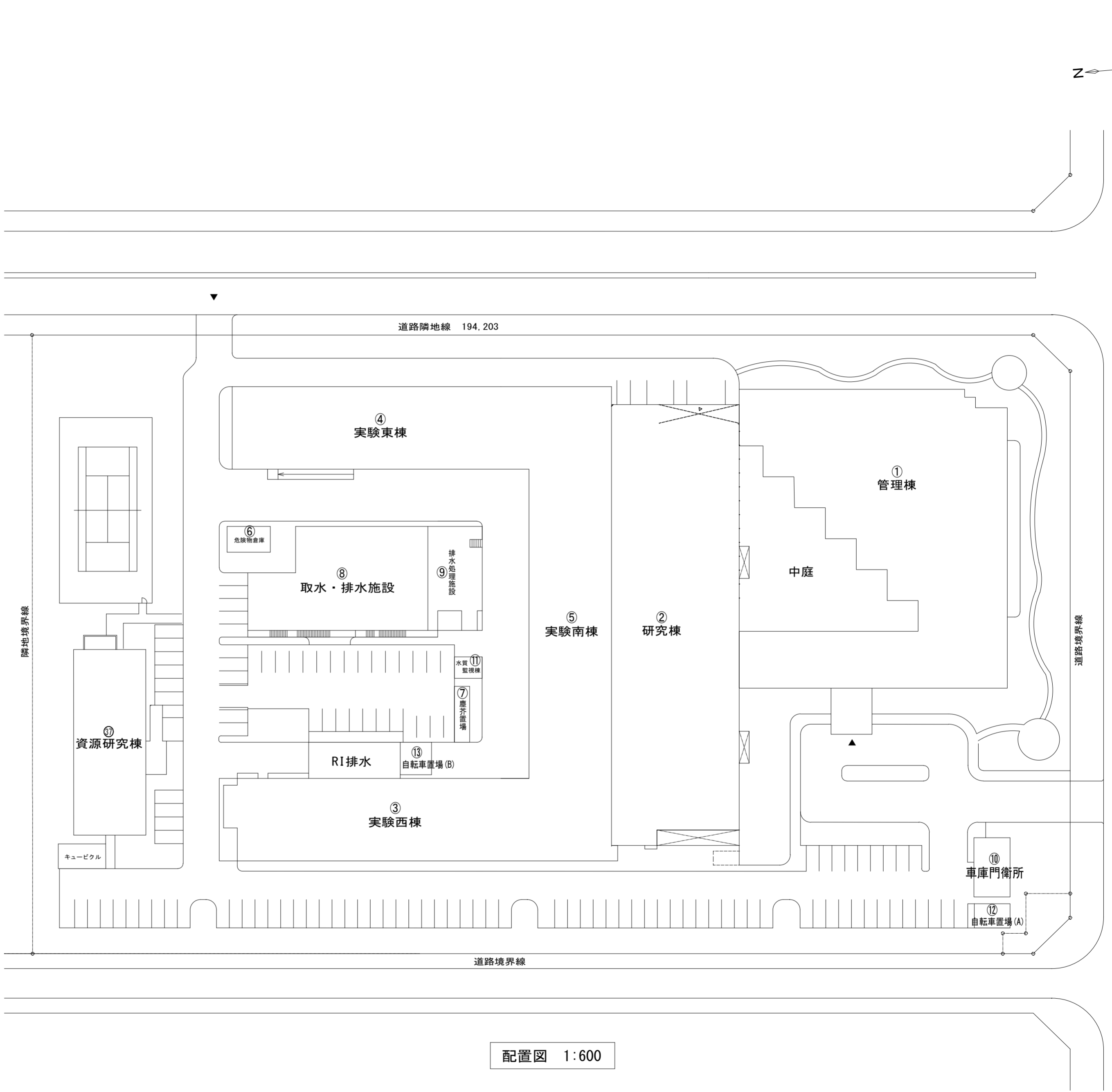
令和7-8年度

横浜庁舎管理部門管理課



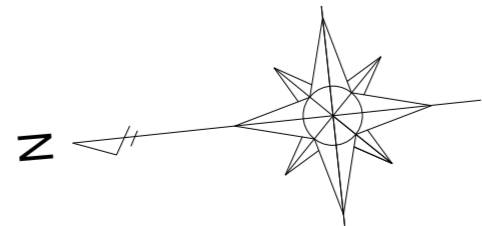
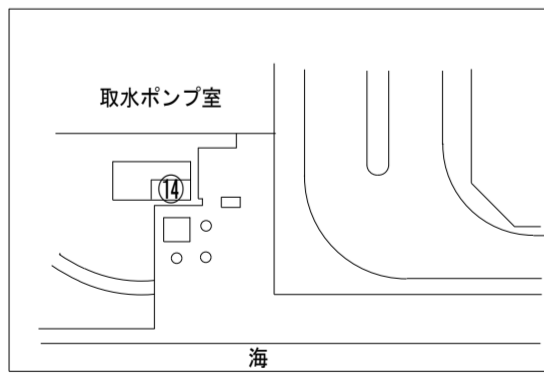
水産資源研究所：横浜市金沢区福浦2-12-4

案内図



配置図 1:600

建物名称	建面積㎡	延面積㎡
① 管理棟	2220.12	6451.43
② 研究棟	1744.74	12602.89
③ 実験西棟	909.60	1809.57
④ 実験東棟	921.44	1703.04
⑤ 実験南棟	1379.90	2569.74
⑥ 危険物倉庫	40.00	40.00
⑦ 塵芥置場	35.75	35.75
⑧ 取水排水施設	40.96	40.96
⑨ 排水処理施設	109.71	109.71
⑩ 車庫門衛所	78.47	78.47
⑪ 水質監視棟	24.00	24.00
⑫ 自転車置場(A)	37.17	37.17
⑬ 自転車置場(B)	35.17	35.17
⑭ 取水ポンプ室	20.16	20.16
⑮ 資源研究棟	504.00	2049.60



工事名	図面番号
案内図・配置図	S=1:600
水産資源研究所	

クリーンルーム・恒温恒湿室仕様-1

1. Z-1 クリーンルーム 無菌包装室

1. 室寸法 内寸 2612×3262×2700H
2. 室内温度条件 夏期 DB 26℃ 冬期 DB 22℃
3. 室内湿度条件 成行き (加湿有)
4. 清浄度 クラス 10,000
5. 換気量 200m³/h
6. 室内照度 ---
7. 照明 逆富士形蛍光灯 40W2灯用×2台
8. コンセント 1φ100V15A 15A (E付) ×5ヶ所

2. Z-2 クリーンルーム 無菌包装室

1. 室寸法 内寸 4392×4434×2700H
2. 室内温度条件 DB 18℃~25℃ ±2℃
3. 室内湿度条件 RH 50%~60% ±10%
4. 清浄度 クラス 10,000
5. 換気量 300m³/h
6. 室内照度 ---
7. 照明 逆富士形蛍光灯 40W2灯用×6台
8. コンセント 1φ100V15A 2口 (E付) ×6ヶ所

3. Z-3 クリーンルーム 無菌包装室

1. 室寸法 内寸 4162×3912×2700H
2. 室内温度条件 夏期 DB 26℃ 冬期 DB 22℃
3. 室内湿度条件 成行き
4. 清浄度 クラス 1,000
5. 換気量 200m³/h
6. 室内照度 ---
7. 照明 逆富士形蛍光灯 40W2灯用×4台 (前室 1台)
8. コンセント 1φ100V15A2口 (E付) ×5ヶ所, 20A (E付) ×1ヶ所

4. Z-4 冷蔵庫

	室寸法	公称収容量	保冷温度	保持温度
冷蔵庫1	5.6×2.6×3.0H	45m ³	0℃	成行き
冷蔵庫2	5.6×2.8×3.0H	47m ³	-20℃	成行き
冷蔵庫3	9.1×3.6×3.0H	99m ³	0℃	成行き
冷蔵庫4	5.6×3.6×3.0H	80m ³	-20℃	成行き
冷蔵庫5	5.5×4.8×3.0H	79m ³	-30℃	成行き
冷蔵庫6	4.8×3.6×3.0H	51m ³	-10℃	成行き
冷蔵庫7	5.5×5.3×3.0H	88m ³	-40℃	成行き
冷蔵庫8	5.9×5.4×3.0H	96m ³	-20℃	成行き

5. Z-5 冷凍冷蔵庫

	室寸法	公称収容量	保持温度	保持湿度
冷凍室	2.2×1.6×1.8H	6m ³	+5℃	成行き
冷蔵室	2.1×1.4×1.8H	5m ³	-20℃	成行き

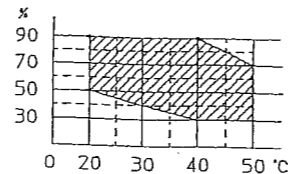
6. Z-6 精密可変低温保存室

1. 保存室内寸法 1850W×1800D×2200Hmm
2. 温度制御範囲 -30~-10℃ 精度±1℃
プログラム制御(温度上昇, 下降 3℃/h以内)
通信機能付(RS-422)
精度はプログラム変温時及びデフロスト時は条件外とする
3. 湿度制御範囲 規定せず
4. 付属品 作業灯: マリンランプ
温度センサ: 保存室内用(Pt100Ω ケーブル5m付)×1
試料室内用(Pt100Ω ケーブル5m付)×1

注記) 2台製作の内1台は冷凍ユニット, 品作留および保存室排水の位置が本図と対称形になります。

7. Z-7 精密可変低温保存室

1. 保存室内寸法 1800W×1800D×2200Hmm
2. 温度制御範囲 -10~+50℃ 精度±0.5℃
プログラム制御(温度上昇, 下降 3℃/h以内)
通信機能付(RS-422)
* 精度は定自動制御とする。
デフロスト時精度は±2℃, 20分以内とする
3. 湿度制御範囲 湿度制御範囲 30~90% 精度±5%



プログラム制御(温度上昇5%/h, 下降 3%/h以内)
* 精度は定自動制御とする。

4. 光強度 1000lx(床上700mm水平面に於ける平均照度)
手動式調光装置付
光源: マリンランプ(白熱灯 100W×8灯)
5. 付属品 作業灯: 照明装置(2灯を兼用)
温度センサ: 試料室内用(Pt100Ω ケーブル5m付)×1
保存室内用(Pt100Ω ケーブル5m付)×1
6. 特記事項 空気調和機は2台具備し、デフロスト時に切換えとする。

8. Z-8 精密可変低温保存室

1. 保存室内寸法 1800W×1800D×2200Hmm
2. 温度制御範囲 -10~+50℃ 精度±0.5℃
プログラム制御(温度上昇, 下降 3℃/h以内)
通信機能付(RS-422)
* 精度は定自動制御とする。
デフロスト時精度は±2℃, 20分以内とする
3. 湿度制御範囲 規定せず
4. 光強度 1000lx(床上700mm水平面に於ける平均照度)
手動式調光装置付
光源: マリンランプ(白熱灯 100W×8灯)
5. 付属品 作業灯: 照明装置(2灯を兼用)
温度センサ: 試料室内用(Pt100Ω ケーブル5m付)×1
保存室内用(Pt100Ω ケーブル5m付)×1
6. 特記事項 空気調和機は2台具備し、デフロスト時に切換えとする。

9. Z-9 冷風乾燥機

1. 乾燥室寸法 815×810×1,300H
2. 温度制御範囲 乾燥時: +10~+40℃
冷却時: +5℃ 下限

10. Z-13 プレハブ式中・小規模用

1. 本体寸法 2,700W×5,500D×2,400H (内寸)
2. 温度条件 +10~+25℃ 精度±1.0% ※
3. 湿度条件 +50%~60%RH 精度±5% ※
注記: ※給排気ファン運転時は条件外とする。

11. Z-14 プレハブ式低温用

1. 本体寸法 3,000W×5,500D×2,400H (内寸)
2. 温度条件 +4℃ 精度±1.0% ※
3. 湿度条件 成行き
注記: ※給排気ファン運転時は条件外とする。

12. Z-15 菌株保存室 (A, B, C) (注)

1. 保存室内寸法 A型: 2850W×6450D×2200Hmm
B型: 4050W×4550D×2200Hmm
C型: 3575W×4550D×2200Hmm
2. 温度制御範囲 A型: 0~+10℃ 精度±1℃
B型: 0~+20℃ 精度±1℃
C型: 10~+20℃ 精度±1℃
注) 精度はA型空気調和機切換時及びA, B型デフロスト時は条件外とする
3. 湿度制御範囲 成行き
4. 清浄度 クラス 100,000
5. 空気循環方式 天井全面吹き出し, 床全面吸い込み
6. 換気量 最大60m³/h (各A, B, C室毎)
7. 内部負荷 A型: 1kW (860kcal/h)以下
B型: 2kW (1720kcal/h)以下
C型: 3kW (2580kcal/h)以下
8. 付属品 中央監視盤への一括監視端子付

13. Z-15 海洋測器検査室

1. 検査室内寸法 4200W×2550D×2400Hmm
2. 温度制御範囲 0~30℃ 精度: ±0.5℃
湿度はデフロスト時 条件外とする。
3. 湿度制御範囲 成行き
4. 換気量 最大 60m³/h (+10℃以上に於いて取り入れ)
5. 付属品 中央監視盤への一括監視端子付

14. Z-17 原料処理室・低温作業室

1. 温度制御範囲 原料処理: 15℃ 精度±2℃
低温作業室: 5~15℃ 精度±2℃
* 精度はデフロスト時条件外とする
2. 湿度制御範囲 成行き
3. 換気量 原料処理室: 最大15回/h (約500m³/h)
低温作業室: 最大2回/h (約90m³/h)
4. 内部負荷 原料処理室: 6kW (5160kcal/h)以下
低温作業室: 10kW (8600kcal/h)以下
5. 付属品 中央監視盤への一括監視端子付

15. Z-18 食品物性測定室

1. 測定室内寸法 4916W×6616D×2600Hmm
2. 温度制御範囲 20℃ 精度: ±2℃
3. 湿度制御範囲 成行き
4. 換気量 最大 90m³/h
5. 内部負荷 最大 2kW (1760kcal/h)
6. 付属品 中央監視盤への一括監視端子付

16. Z-19 第1河青試験室(第1)恒温室

1. 室内寸法 第1恒温室: 6216W×2908D×2400Hmm
第1冷蔵室: 4166W×4066D×2400Hmm
2. 温度制御範囲 20~30℃ 精度: 恒温室±1℃, 冷蔵室±1.5℃
3. 湿度制御範囲 50~70% 精度: 恒温室±5%, 冷蔵室±10%
4. 清浄度 第1恒温室: クラス 10,000
第1冷蔵室: クラス 100,000
5. 換気量 オールフレッシュ方式
6. 光強度 約500lx(灯下1m平均照度)
24時間タイマーによる自動点滅式
7. 特記事項 室内湿度(約5mmH₂O)
ラット80匹(240kcal/h)
8. 内部負荷 恒温室: 0.4kW (350kcal/h)
冷蔵室: 0.6kW (520kcal/h)以下
チャート巾 180mm, 6打点(湿度各2点)×1台
蛍光灯: 30W×2灯/室
9. 付属品 湿度計: チャート巾 180mm, 6打点(湿度各2点)×1台
蛍光灯: 30W×2灯/室
10. 監視端子 中央監視盤への一括監視端子付

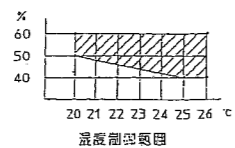
完成	工事名	中央水産研究所機械設備(空調)工事	図番	178
	所在	横浜市金沢区福浦2-12-4	種別	R
	図面	クリーンルーム	作成日	平成5年5月31日
	内容	恒温恒湿室仕様(1)	製作者	野中 保生

	株式会社 gaiyaku 株式会社	工事名称 中央水産研究所機械設備(空調)工事	H5 = 5 頁 目
	図面番号 クリーンルーム恒温恒湿室仕様-1	図番 178	SCALE 1/

クリーンルーム・恒温恒湿室仕様-2

17. Z-20 第2, 第3飼育試験室

- 1. 試験室室内寸法 第2飼育室: 3258W × 4316D × 2400Hmm
第3飼育室: 3316W × 5816D × 2400Hmm
- 2. 温度制御範囲 20~26℃ 精度 ±2℃
- 3. 湿度制御範囲 40~60% 精度 ±10%



- 4. 清浄度 クラス 100,000
- 5. 換気量 最大 15回/h
第2飼育室: 約500m³/h
第3飼育室: 約660m³/h
- 6. 光強度 約500lx(灯下1m平均照度)
24時間タイマーによる自動点滅式
- 7. 特記事項 飼育室内圧(約5mmH₂O)
- 8. 内部負荷 3kW(2580kcal/h)
第2飼育室: ラット50匹(150kcal/h)以下
第3飼育室: ラット110匹(330kcal/h)以下
- 9. 警報装置 中央監視盤への一括警報装置付

18. Z-21 β, γ線測定室

- 1. 試験室室内寸法 β 室: 5817W × 6616D × 2400Hmm
γ 室: 5817W × 6616D × 2400Hmm
- 2. 温度制御範囲 20℃ 精度 ±1℃
※ 精度は吹出口を中心として
床下1m水平面に於ける
2 × 2.5mの範囲とする。
- 3. 湿度制御範囲 50% 精度 ±10%
※ 精度は湿度に準ずる範囲とする
- 4. 換気量 最大 90m³/h (β, γ室併)
- 5. 内部負荷 最大 6kW (5160kcal/h)
- 6. 警報装置 中央監視盤への一括警報付

19. Z-22 大容量抽出付精製室

- 1. 試験室室内寸法 5416W × 1916D × 2400Hmm
- 2. 温度制御範囲 5℃ 精度: ±2℃
デフロスト時の精度は条件外とする。
- 3. 湿度制御範囲 成行 ぎ
- 4. 換気量 最大 60m³/h
- 5. 内部負荷 1kW (860kcal/h)以下
- 6. 警報装置 中央監視盤への一括警報装置付

20. Z-23 微小生物培養実験室

- 1. 実験室室内寸法 3236W × 1716D × 2600Hmm
- 2. 温度制御範囲 5~30℃ 精度: ±2℃
精度は定位置制御時とし、変温時及びデフロスト時は条件外とする。
プログラム制御(温度上昇, 下降3℃/h以内)
- 3. 湿度制御範囲 70% 精度 ±10% (加湿制御), 変温時は条件外とする。
温度10℃未満は湿度制御せず。
- 4. 光強度 約1000lx(灯下1mに於ける平均照度, 室温20℃のとき)
- 5. 換気量 最大 60m³/h
- 6. 内部負荷 1kW(860kcal/h)以下
- 7. 警報装置 中央監視盤への一括警報装置付

21. Z-24 α線測定室

- 1. α室室内寸法 3616W × 5366D × 2400Hmm
- 2. 温度制御範囲 20℃ 精度 ±1℃
※ 精度は吹出口を中心として
床下1m水平面に於ける
2 × 2.5mの範囲とする
- 3. 湿度制御範囲 50% 精度 ±10%
※ 精度は湿度に準ずる範囲とする
- 4. 換気量 最大 90m³/h
- 5. 内部負荷 最大 6kW (5160kcal/h)
- 6. 警報装置 中央監視盤への一括警報付

完成図	工名	中央水産研究所機械設備(空調)工事	図番	179
	所在	横浜市金沢区福浦2-12-4	図尺	
	図面内容	クリーンルーム 恒温恒湿室仕様(2)	図日 年月日	平成5年5月31日
	製図者	野中 保生		

ダイシン株式会社 〒100 東京都千代田区千代田 1-1-1 TEL 03-5561-1111	工名	中央水産研究所機械設備(空調)工事	日付	H5 年 5 月 31 日
	図面内容	クリーンルーム・恒温恒湿室仕様-2	図番	179
	SCALE 1/			

クリーンルーム・恒温恒湿室機器表-1

1. Z-1 クリーンルーム 無菌包装室

記号	品名	製造者名	形番、形式、容量又は出力、その他	数	備考
AC1	クリーンルーム用エアコン	協和機工機	KHU-2HC 送風機:3φ 200V 50HZ 0.75KW 風量:1,440m ³ /h 冷却能力:3,900kcal/h	1	
	冷凍機ユニット	日立製作所	200S2-SLS 空冷式 外装型 3φ 200V 50HZ 1.5KW 冷媒:R-22 冷凍能力:3,650kcal/h ET:-5°C	1	
HU1	加熱・加湿ユニット	協和機工機	天井型 加熱能力:4,300kcal/h 電気ヒータ:3φ 200V 5KW パン型加湿器:3φ 200V 2KW (自動ブロー式) 加湿量:2.4kg/h	1	
OF ₁	給気ファン	三菱電機機	V-20ZM3 1φ 100V 50HZ 14W 風量:200m ³ /h 静圧:12mmH ₂ O	1	

2. Z-2 クリーンルーム 無菌包装室

記号	品名	製造者名	形番、形式、容量又は出力、その他	数	備考
AHU ₂	空気調和機	協和機工機	KHU-S8V 送風機:3φ 200V 50HZ 0.75KW 風量:2,000m ³ /h 静圧:30mmH ₂ O 冷却能力:6,500kcal/h 加熱能力:5,160kcal/h 電気ヒータ:3φ 200V 6KW パン型加湿器:3φ 200V 8KW (自動ブロー式) 加湿量:9kg/h	1	
R ₂	冷凍機ユニット	日立製作所	400S2-SLS 空冷式 屋外装型 3φ 200V 50HZ 3.0KW 冷媒:R-22 冷凍能力:7,000kcal/h ET:-5°C	1	
PB ₂	パスボックス	日立製作所	PRB-7575-40BS	1	
AS ₂	エアシャワー	日立製作所	PCJ-750GKSI (三方向タイプ) 風量:15m ³ /min	1	
OF ₂	給気ファン	三菱電機機	V-20ZM3 1φ 100V 50HZ 61W 風量:300m ³ /h	1	

3. Z-3 クリーンルーム 無菌包装室

記号	品名	製造者名	形番、形式、容量又は出力、その他	数	備考
AHU ₃	空気調和機	協和機工機	KHU-S7HC 送風機:3φ 200V 0.75KW 風量:4,400m ³ /h 静圧:30mmH ₂ O 冷却能力:5,500kcal/h 加熱能力:6,020kcal/h 電気ヒータ:3φ 200V 7KW パン型加湿器:3φ 200V 4KW (自動ブロー式) 加湿量:4.8kg/h	1	
R ₃	冷凍機ユニット	日立製作所	400S2-SLS 空冷式 屋外装型 3φ 200V 50HZ 2.2KW 冷媒:R-22 冷凍能力:4,800kcal/h ET:-5°C	1	
PB ₃	パスボックス	日立製作所	PRB-7575-80BS	1	
AS ₃	エアシャワー	日立製作所	PCJ-750GKSI (三方向タイプ) 風量:15m ³ /h	1	
OF ₃	給気ファン	三菱電機機	V-20ZM3 1φ 100V 50HZ 61W 風量:300m ³ /h	1	

4. Z-4 冷蔵庫

記号	品名	製造者名	形番、形式、容量又は出力、その他	数	備考
	制御盤	日新	銅板製自立型 3φ 200V 50HZ 101.4KVA 1φ 3W 200/100V 50HZ 5KVA	1	
UC-1	天吊型ユニットクーラ	佛原製作所	HUC-41S-BHZ 送風機:0.2KW 冷却面積:22.5m ² デフロストヒータ:0.23KW×9本 0.34KW×2本	2	冷蔵庫1.2
UC-2-1		佛原製作所	HUC-91C-BHZ 送風機:0.05KW×4 冷却面積:4.3m ² デフロストヒータ:1KW×6 0.74KW×1	1	冷蔵庫3
UC-2-2		佛原製作所	HUC-76S-BHZ 送風機:0.2KW×2 冷却面積:42.0m ² デフロストヒータ:0.48KW×9 0.56KW×2	2	冷蔵庫4.8
UC-3		佛原製作所	HUC-31S-BHZ 送風機:0.2KW 冷却面積:15.8m ² デフロストヒータ:0.23KW×6 0.34KW×2	1	冷蔵庫6
UC-4		佛原製作所	HUC-111A-CHZ 送風機:0.4KW×2 冷却面積:51.4m ² デフロストヒータ:0.5KW×12 0.62KW×3	1	冷蔵庫7
UC-5		佛原製作所	HUC-101S-CHZ 送風機:0.2KW×2 冷却面積:41.6m ² デフロストヒータ:0.48KW×12 0.56KW×3	1	冷蔵庫5
CU-1	冷凍機	三菱電機機	ERP-37PBG 半密閉型往復式 3φ 200V 50HZ 3.7KW 冷媒:R-22 冷凍能力:7,600kcal/h ET:-10°C	1	冷蔵庫1.3
CU-2		三菱電機機	ETR-55UPAG 半密閉型往復式・二段圧縮 3φ 200V 50HZ 5.5KW 冷媒:R-22 冷凍能力:6,400kcal/h ET:-30°C	2	冷蔵庫6.8 冷蔵庫2.4
CU-3		三菱電機機	ETR-1100PAG 半密閉型往復式・二段圧縮 3φ 200V 50HZ 10.8KW 冷媒:R-22 冷凍能力:5,700kcal/h ET:-50°C	1	冷蔵庫7
CU-4		三菱電機機	ETR-55UPAG 半密閉型往復式・二段圧縮 3φ 200V 50HZ 5.5KW 冷媒:R-22 冷凍能力:4,200kcal/h ET:-40°C	1	冷蔵庫5
AC-1	冷凍機用コンデンサ	三菱電機機	RM-37G 空冷式 屋外型リモートコンデンサ 3φ 200V 50HZ 0.09KW×2 風量:93m ³ /min	1	冷凍機CU-1
AC-2		三菱電機機	RM-45G 空冷式 屋外型リモートコンデンサ 3φ 200V 50HZ 0.135KW×2 風量:95m ³ /min	3	冷凍機 CU-2.4
AC-3		三菱電機機	RM-75G 空冷式 屋外型リモートコンデンサ 3φ 200V 50HZ 0.27KW×2 風量:133m ³ /min	1	冷凍機CU-3

5. Z-5 冷蔵冷蔵庫

記号	品名	製造者名	形番、形式、容量又は出力、その他	数	備考
	制御監視盤	日新 興業	銅板製 掛型 3φ 3W 200V 50HZ 5.5KVA 1φ 100V 1KVA	1	
UC-6	天吊型ユニットクーラ	佛原製作所	HUC-21N-AOU 送風機:3φ 200V 0.05KW 冷却面積:10.1m ²	1	
UC-7		佛原製作所	HUC-31N-BHU 送風機:3φ 200V 0.05KW×2 冷却面積:13.0m ²	1	
UC-5	冷凍機ユニット	三菱電機機	ERA-Z22B 空冷式 屋外装型 3φ 200V 50HZ 2.2KW 冷媒:R-22 冷凍能力:2,200kcal/h ET:-30°C	1	

完成図	工事名	中央水産研究所補給設備(空調)工事	図面番号	180
	所在地	横浜市金沢区福浦2-12-4	縮尺	
	図面内容	クリーンルーム 恒温恒湿室機器表(1)	図面日付	平成5年5月31日
	図面作成者	野中 保生	図面承認者	
工務所		中央水産研究所補給設備(空調)工事	H5年 5月 31日	
図面作成者		野中 保生	180	
SCALE 1/				

クリーンルーム・恒温恒湿室機器表-2

6. Z-6 精密可変低温保存室

記号	品名	製造者名	形番、形式、容量又は出力、その他	数量	備考
	操作盤	小糸工業	銅板製自立型 3φ 3W 200V 50HZ 15KVA (G回路) 1φ 100V 1.5KVA	2	
ACU	空気調和機	小糸工業	送風機: 3φ 200V 50HZ 0.1KW×2 風量: 17m ³ /min 静圧: 14mmH ₂ O 冷却能力: 1,650kcal/h 加熱能力: 6,880kcal/h 電気ヒータ: 3φ 200V 8KW	2	
RU	冷凍機	日立製作所	751S2-SLR 半密閉型往復式 3φ 200V 50HZ 5.5KW 冷媒: R-22 冷凍能力: 1,960kcal/h ET: -40°C	2	
RC	冷凍機用コンデンサ	日立製作所	RCR-750N 空冷式屋外形リモートコンデンサ 3φ 200V 0.15kw	2	

7. Z-7 精密可変低温保存室

記号	品名	製造者名	形番、形式、容量又は出力、その他	数量	備考
	操作盤	小糸工業	銅板製自立型 3φ 3W 200V 17KVA (G回路) 1φ 100V 50HZ 2KVA	1	
ACU	空気調和機	小糸工業	送風機: 3φ 200V 50HZ 0.1KW 風量: 24m ³ /min 静圧: 10mmH ₂ O 冷却能力: 2,000+1,800kcal/h 加熱能力: 4,300kcal/h 電気ヒータ: 3φ 200V 5KW	2	
RU1	冷凍機ユニット	日立製作所	300S2-FLR 半密閉型往復式 3φ 200V 50HZ 2.2KW 冷媒: R-22 冷凍能力: 2,750kcal/h ET: -20°C	2	
RU2		東芝設備機器	TAH101JAT 全密閉型往復式 3φ 200V 50HZ 0.75KW 冷媒: R-22 冷凍能力: 2,000kcal/h ET: 5°C	1	
RC-1	冷凍機用コンデンサ	日立製作所	RCR-3N 空冷式屋外形リモートコンデンサ 3φ 200V 50HZ 0.035KW×2	2	
RC-2					
RC-3		勝ソーゴ	SG-22C-9205 空冷式屋外形リモートコンデンサ 3φ 200V 50HZ 0.07KW	1	
	加湿器	小糸工業	SH-502 蒸気式: 3φ 200V 5 KW 加湿量: 4kg/h	1	

8. Z-8 精密可変低温保存室

記号	品名	製造者名	形番、形式、容量又は出力、その他	数量	備考
	操作盤	小糸工業	銅板製自立型 3φ 3W 50HZ 200V 14KVA (G回路) 1φ 100V 2KVVA	1	
ACU	空気調和機	小糸工業	送風機: 3φ 200V 50HZ 0.1KW 風量: 24m ³ /min 静圧: 10mmH ₂ O 冷却能力: 2,000+1,800kcal/h 加熱能力: 4,300kcal/h 電気ヒータ: 3φ 200V 5KW	2	
RU-1	冷凍機	日立製作所	300S2-FLR 半密閉型往復式 3φ 200V 50HZ 2.2KW 冷媒: R-22 冷凍能力: 2,750kcal/h ET: -20°C	2	
RU-2		東芝設備機器	TAH101JA-T 全密閉型往復式 3φ 200V 0.75KW 冷媒: R-22 冷凍能力: 2,000kcal/h ET: 5°C	1	
RC-1	冷凍機用コンデンサ	日立製作所	RCR-3N 空冷式屋外形リモートコンデンサ 3φ 200V 50HZ 0.035KW×2	2	
RC-2					
RC-3		勝ソーゴ	SG-22C-9205 空冷式屋外形リモートコンデンサ 3φ 200V 50HZ 0.07KW	1	

9. Z-9 加温乾燥機

記号	品名	製造者名	形番、形式、容量又は出力、その他	数量	備考
	制御盤	四国冷蔵センタ	銅板製壁掛型 3φ 3W 200V 50HZ 1.51KW	1	
	熱交換ユニット	四国冷蔵センタ	除湿送風機: 3φ 200V 50HZ 0.1KW 除湿コイル, 再熱コイル	1	
	攪拌送風機	四国冷蔵センタ	3φ 200V 0.15KW 両方向自動反転	1	
	冷凍機ユニット	三菱電機	RH247 3φ 200V 1.2KW 冷媒: R-22	1	


10. Z-13 恒温恒湿室

記号	品名	製造者名	形番、形式、容量又は出力、その他	数量	備考
	制御盤	日本フリーザ	銅板製壁掛型 3φ 3W 200V 50HZ 7.6KVA 1φ 3W 200/100V 50HZ 5KVA	1	
R1-1	冷凍機ユニット	三菱電機	HCA08 密閉型往復式 3φ 200V 50HZ 0.75KW	2	
R1-2			冷凍能力: 1,050kcal/h 耐塩仕様 冷媒: R-22		
U1	ユニットクーラ	三洋電機	CC-M2050 吊形 冷凍能力: ET 5°C 2,100kcal/h 加熱能力: 1,550kcal/h 電気ヒータ: 3φ 200V 1.8KW 風量: 15.8m ³ /min 3φ 200V 20W	2	
H	加湿器	ウエットマスター	WM-BNB1000 加湿量: 1.0kg/h 1φ 100V 110W	1	
V	換気扇	三菱電機	VL-1600Z 天井埋込形 風量: 125m ³ /h 1φ 100V 40W	1	
F	給・排気ファン	三菱電機	BF-19DSC ミニシロッコファン 風量: 1,080m ³ /h 1φ 100V 200W	1	

11. Z-14 低温乾燥機 × 2

記号	品名	製造者名	形番、形式、容量又は出力、その他	数量	備考
	制御盤	日本フリーザ	銅板製壁掛型 3φ 3W 200V 50HZ 14.3KVA 1φ 100V 50HZ 5KVA	1	
RZ-1	冷凍機ユニット	三菱電機	HCA15 密閉型往復式 3φ 200V 1.5KW	2	
RZ-2			冷凍能力: 2,500kcal/h 耐塩仕様 冷媒: R-22		
U2	ユニットクーラ	三洋電機	CC-M2050 冷凍能力: ET -5°C 3,200kcal/h ファンモータ 3φ 200V 20W	2	
F	給・排気ファン	三菱電機	BF-19DSC ミニシロッコファン AC100V 200W 1080m ³ /h	1	

完成	工事名	中央水産研究所機械設備(空調)工事	図面番号	181
	所在地	横浜市金沢区福浦2-12-4	竣工年月日	平成5年3月31日
図面内容	図面	クリーンルーム	製図者	野中保生
	内容	恒温恒湿室機器表(2)	製図者	野中保生



ガイガン株式会社

中央水産研究所機械設備(空調)工事

クリーンルーム・恒温恒湿室機器表-2

181

SCALE 1/

クリーンルーム・恒温恒湿室機器表-3

12. Z-15 特殊保存室 (A, B, C 室)

記号	品名	製造者名	形番、形式、容量又は出力、その他	数量	備考
	操作盤 (A室)	小糸工業	銅板製自立型 3φ 3W 200V 50HZ 20KVA 1φ 3W 200/100V 5KVA (G回路)	1	
	操作盤 (B, C室)	小糸工業	銅板製自立型 3φ 3W 200V 50HZ 18KVA×2 回路 1φ 3W 200/100V 5KVA×2 回路	1	
ACU-A1	空気調和機 (A室)	小糸工業	送風機: 3φ 200V 0.45KW×2 風量: 60m ³ /min 静圧: 47mmH ₂ O 冷却能力: 3,000kcal/h×2 加熱能力: 6,500kcal/h 電気ヒータ: 3φ 200V 8KW	2	
ACU-A2					
ACU-B	空気調和機 (B室)	小糸工業	送風機: 3φ 200V 0.45KW×2 風量: 60m ³ /min 静圧: 47mmH ₂ O 冷却能力: 3,400kcal/h×2 加熱能力: 6,500kcal/h 電気ヒータ: 3φ 200V 8KW	1	
ACU-C	空気調和機 (C室)	小糸工業	送風機: 3φ 200V 0.45KW×2 風量: 60m ³ /min 静圧: 47mmH ₂ O 冷却能力: 4,100kcal/h×2 加熱能力: 6,500kcal/h 電気ヒータ: 3φ 200V 8KW	1	
RU-A1	冷凍機	日立製作所	300S2-FLR 半密閉型往復動式 3φ 200V 50HZ 2.2KW 冷媒: R-22	8	
RU-A2					
RU-B					
RU-C					
RC1-A1	冷凍機用コンデンサ (A室)	日立製作所	RCR-3N 空冷式 外形リモートコンデンサ 3φ 200V 50HZ 0.035KW×2	6	
RC2-A1					
RC1-A2					
RC2-A2					
RC1-B					
RC2-B					
RC1-C	冷凍機用コンデンサ (C室)	日立製作所	RCR-4N 空冷式 外形リモートコンデンサ 3φ 200V 50HZ 0.035KW×2	2	
RC2-C					
	排気処理ユニット	小糸工業	送風機: ミニシロッコファン 1φ 200V 0.045KW 風量: 60m ³ /h 静圧: 17mmH ₂ O	3	
	吸気処理ユニット	小糸工業	送風機: ミニシロッコファン 1φ 200V 0.045KW 風量: 60m ³ /h 静圧: 17mmH ₂ O	3	

13. Z-16 海洋機器検査室

記号	品名	製造者名	形番、形式、容量又は出力、その他	数量	備考
	操作盤	小糸工業	銅板製自立型 3φ 3W 200V 50HZ 12KVA 1φ 2W 100V 50HZ 3KVA	1	
ACU	空気調和機	小糸工業	送風機: 3φ 200V 0.2KW 風量: 20m ³ /min 静圧: 22mmH ₂ O 冷却能力: 3,600+1,900kcal/h 加熱能力: 5,700kcal/h 電気ヒータ: 3φ 200V 7KW	1	
RU	冷凍機ユニット	東芝設備機器	TAH101JA-T 全密閉型往復動式 3φ 200V 50HZ 0.75KW 冷媒: R-22 冷却能力: ET 7°C 2,100kcal/h	1	
		日立製作所	300S2-FLR 半密閉型往復動式 3φ 200V 50HZ 2.2KW 冷媒: R-22 冷却能力: ET -10°C 4,000kcal/h	1	
RC1	冷凍機用コンデンサ	日立製作所	SG-22C-9205 3φ 200V 50HZ 0.06KW	1	
RC2	冷凍機用コンデンサ	日立製作所	RCR-3N 3φ 200V 50HZ 0.035KW×2	1	

14. Z-17 原料処理室・低温作業室

記号	品名	製造者名	形番、形式、容量又は出力、その他	数量	備考
	操作盤	小糸工業	原料処理室用 銅板製自立型 3φ 3W 200V 50HZ 20KVA 低温作業室用 3φ 3W 200V 50HZ 17KVA	1	
ACU-A	空気調和機	小糸工業	送風機: 3φ 200V 0.28KW×2 風量: 39.5m ³ /min 静圧: 24mmH ₂ O 冷却能力: 9,500kcal/h×2 加熱能力: 5,200kcal/h 電気ヒータ: 3φ 200V 6.5KW	1	原料処理室
ACU-B	冷却・加熱ユニット	日立製作所	SG-1000HAS 送風機: 3φ 200V 50HZ 80W×3台 冷却能力: 10,750kcal/h 加熱能力: 1,400kcal/h 電気ヒータ: 3φ 200V 2KW	2	低温作業室
RU-A	冷凍機ユニット	日立製作所	500S2-FLR 半密閉型往復動式 3φ 200V 50HZ 3.75KW 冷媒: R-22 冷却能力: 11,100kcal/h ET: -5°C	2	原料処理室
RU-B	冷凍機ユニット	(株)日立製作所	500S2-FLR 半密閉型往復動式 3φ 200V 50HZ 3.75KW 冷媒: R-22 冷却能力: 10,000kcal/h ET: -7°C	2	低温作業室
RC1-A	冷凍機用コンデンサ	日立製作所	RCR-750N 送風機: 3φ 200V 50HZ 0.15KW	2	原料処理室
RC2-A					
RC1-B			RCR-750N 送風機: 3φ 200V 50HZ 0.15KW	2	低温作業室
RC2-B					
	吸気ユニット	小糸工業	送風機: 1φ 200V 50HZ 0.045KW 風量: 90m ³ /h 静圧: 14mmH ₂ O	1	
	排気ユニット	小糸工業	送風機: 1φ 200V 50HZ 0.045KW 風量: 90m ³ /h 静圧: 14mmH ₂ O	1	
	排気ファン	日立製作所	ラインファン 2LFM 1φ 100V 50HZ 80W 風量: 500m ³ /h 静圧: 12mmH ₂ O	1	

15. Z-18 食品物性測定室

記号	品名	製造者名	形番、形式、容量又は出力、その他	数量	備考
	操作盤	小糸工業	銅板製 掛形 3φ 3W 200V 50HZ 20KVA 1φ 3W 200/100V 50HZ 5KVA	1	
ACU	冷却・加熱ユニット	日立製作所	SG-1502SA-9206 送風機: 1φ 200V 50HZ 12W×2 冷却能力: 3,100kcal/h 加熱容量: 1,400kcal/h 電気ヒータ: 3φ 200V 2KW	1	
RU	冷凍機ユニット	日立製作所	400S2-SLS 空冷式 外置型 半密閉型 往復動式 3φ 200V 50HZ 3.0KW 冷媒: R-22 冷凍能力: 7,000kcal/h	1	
	給気ユニット	小糸工業	ミニシロッコファン 1φ 200V 0.045KW 風量: 90m ³ /h 静圧: 13mmH ₂ O	1	
	排気ユニット	小糸工業	ミニシロッコファン 1φ 200V 0.045KW 風量: 90m ³ /h 静圧: 13mmH ₂ O	1	

完成図
 工事名: 中央水産研究所機械設備(空調)工事 図番: 182
 所在地: 横浜市金沢区福浦2-12-4
 図主: クリーンルーム
 図内: 恒温恒湿室機群表(3) 調整者: 野中保生
 図日: 平成5年5月31日

中央水産研究所機械設備(空調)工事
 1995年5月31日
 クリーンルーム・恒温恒湿室機器表-3
 182
 SCALE 1/

クリーンルーム・恒温恒湿室機器表-4

16. Z-19 第1飼育試験室 第1処置室

記号	品名	製造者名	形番、形式、容量又は出力、その他	数量	備考
	動力盤	小糸工業	銅板製自立型 第一飼育試験室:3φ 200V 50HZ 51KVA (G回路) 第1処置室:3φ 200V 50HZ 57KVA 共通:1φ 3W 200/100V 50HZ 5KVA	1	
	操作盤	小糸工業	銅板製自立型 温湿度計 (チャート巾 100mm)	1	
ACU-A	空気調和機	小糸工業	送風機:3φ 200V 60HZ 0.45KW×2 風量:24m ³ /min 静圧:49mmH ₂ O 冷却能力:6,700+9,700+10,000kcal/h 加熱能力:14,500kcal/h 電気ヒータ:3φ 200V 17KW	1	飼育室
ACU-B	空気調和機	小糸工業	送風機:3φ 200V 60HZ 0.45KW×2 風量:22m ³ /min 静圧:50mmH ₂ O 冷却能力:5,900+9,000+9,500kcal/h 加熱能力:13,200kcal/h 電気ヒータ:3φ 200V 16KW	1	処置室
RU1-A	冷凍機ユニット	日立製作所	400S2-SLS 空冷式/外置型 3φ 200V 50HZ 3KW 冷媒:R-22	2	飼育室
RU1-B			冷凍能力:7,000kcal/h ET:-5℃		処置室
RU2-A			500S2-SLS 空冷式/外置型 3φ 200V 50HZ 3.75KW 冷媒:R-22	2	飼育室
RU2-B			冷凍能力:11,100kcal/h ET:-5℃		処置室
RU3-A			KV-5AV 空冷式/外置型 (インバータ式) 3φ 200V 60HZ 3.75KW 冷媒:R-22	2	飼育室
RU3-B		冷凍能力:11,000kcal/h ET:-5℃		処置室	
	加湿器	エアマテック	DME-30 電極式ユニット型加湿器 (自動ブロー式) 3φ 200V 22KW 加湿量:30kg/h	1	飼育室
			DME-20 電極式ユニット型加湿器 (自動ブロー式) 3φ 200V 19KW 加湿量:26kg/h	1	処置室
	排気処理ユニット	小糸工業	送風機:3φ 200V 50HZ 0.28KW×2 風量:33m ³ /min 静圧:28mmH ₂ O	1	共通
	排気ファンユニット	小糸工業	送風機:3φ 200V 50HZ 0.15KW 風量:24m ³ /min 静圧:12mmH ₂ O	1	飼育室
	排気ファンユニット	小糸工業	送風機:3φ 200V 50HZ 0.15KW 風量:22m ³ /min 静圧:13mmH ₂ O	1	処置室

17. Z-20 第2、第3飼育試験室

記号	品名	製造者名	形番、形式、容量又は出力、その他	数量	備考	
	動力盤	小糸工業	銅板製自立型 第2飼育室 3φ 200V 50HZ 42KVA 1φ 3W 200/100V 5KVA 第3飼育室 3φ 200V 50HZ 47KVA	1		
	操作盤	小糸工業	銅板製自立型 温湿度計 (チャート巾 100mm 温度度各1点)	1		
ACU-A	空気調和機	小糸工業	送風機:3φ 200V 60HZ 0.45KW×2 風量:28.3m ³ /min 静圧:47mmH ₂ O 冷却能力:5,000+9,200kcal/h×2 加熱能力:18,300kcal/h 電気ヒータ:3φ 200V 2 KW	1	第2飼育室	
ACU-B		小糸工業	送風機:3φ 200V 60HZ 0.45KW×2 風量:3.8m ³ /min 静圧:45mmH ₂ O 冷却能力:9,500kcal/h×3 加熱能力:20,600kcal/h 電気ヒータ:3φ 200V 24KW	1	第3飼育室	
RU-A	冷凍機ユニット	日立製作所	300S2-FLR 半密閉型往復動式 3φ 200V 50HZ 2.2KW 冷媒:R-22	1	第2飼育室	
			冷凍能力:5,000kcal/h ET:-5℃			
			502S2-FLR 半密閉型往復動式 3φ 200V 50HZ 3.75KW 冷媒:R-22	2		
			冷凍能力:11,100kcal/h ET:-5℃			
RU-B		日立製作所	502S2-FLR 半密閉型往復動式 3φ 200V 50HZ 3.75KW 冷媒:R-22	3	第3飼育室	
			冷凍能力:11,100kcal/h ET:-5℃			
RC1-A	冷凍機用コンデンサ	日立製作所	RCR-4N 空冷式/外形リモートコンデンサ 3φ 200V 50HZ 0.055KW×2	1	第2飼育室	
RC2-A			RCR-750N 空冷式/外形リモートコンデンサ 3φ 200V 50HZ 0.15KW	2		
RC3-A						
RC1-B			日立製作所	RCR-750N 空冷式/外形リモートコンデンサ 3φ 200V 50HZ 0.15KW	3	第3飼育室
RC2-B						
RC3-B						
	給気処理ユニット	小糸工業	送風機:3φ 200V 50HZ 0.28KW 風量:498m ³ /h 静圧:11.5mmH ₂ O	1	第2飼育室	
	給気処理ユニット	小糸工業	送風機:3φ 200V 50HZ 0.28KW 風量:660m ³ /h 静圧:9.5mmH ₂ O	1	第3飼育室	
	排気ユニット	小糸工業	送風機:3φ 200V 50HZ 0.04KW 風量:498m ³ /h 静圧:11.5mmH ₂ O	1	第2飼育室	
	排気ユニット	小糸工業	送風機:3φ 200V 50HZ 0.04KW 風量:660m ³ /h 静圧:9.5mmH ₂ O	1	第3飼育室	

18. Z-21 B, r 線測定室

記号	品名	製造者名	形番、形式、容量又は出力、その他	数量	備考	
	動力盤	小糸工業	銅板製自立型 3φ 200V 50HZ 52KVA×2系統	1		
	操作盤	小糸工業	銅板製自立型 1φ 3W 200/100V 5KVA×2系統	2		
ACU-A	空気調和機	小糸工業	送風機:3φ 200V 50HZ 0.35KW×2 風量:51.5m ³ /min 静圧:25mmH ₂ O	2		
ACU-B				冷却能力:3,500+10,000+10,000kcal/h 加熱能力:13,000kcal/h 電気ヒータ:3φ 200V 16KW		
RU-A	冷凍機ユニット	日立製作所	200FSV2-F 半密閉型往復動式 3φ 200V 50HZ 1.5KW 冷媒:R-22	2		
RU-B				冷凍能力:3,600kcal/h ET:-5℃		各1
			500S2-FLR 半密閉型往復動式 3φ 200V 50HZ 3.75KW 冷媒:R-22	4		
			冷凍能力:11,100kcal/h ET:-5℃		各2	
RC1-A	冷凍機用コンデンサ	日立製作所	RCR-3N 空冷式/外形リモートコンデンサ 3φ 200V 50HZ 0.035KW×2	2		
RC2-A						各1
RC3-A						
RC1-B				RCR-750N 空冷式/外形リモートコンデンサ 3φ 200V 50HZ 0.15KW	4	
RC2-B						各2
RC3-B						
	加湿器	エアマテック	DME-9 電極式ユニット型加湿器 (自動ブロー式) 3φ 200V 6KW 加湿量:7.5kg/h	2		
	排気ユニット	小糸工業	送風機:ミニシロッコファン 1φ 200V 50HZ 0.045KW 風量:90m ³ /h 静圧:13mmH ₂ O	2		

19. Z-22 大容積抽出精製室

記号	品名	製造者名	形番、形式、容量又は出力、その他	数量	備考
	操作盤	小糸工業	銅板製自立型 3φ 3W 200V 50HZ 7KVA 1φ 3W 200/100V 50HZ 5KVA (G回路)	1	
ACU	冷却・加熱ユニット	日立製作所	SG-1502SA-9207 送風機:3φ 200V 50HZ 0.012KW×2 冷却能力:3,100kcal/h 加熱能力:800kcal/h 電気ヒータ:3φ 200V 1KW	2	
RU	冷凍機	日立製作所	400S2-FLR 半密閉型往復動式 3φ 200V 50HZ 3.0KW 冷媒:R-22	1	
			冷凍能力:7,000kcal/h ET:-5℃		
RC	冷凍機用コンデンサ	日立製作所	RCR-5N 空冷式/外形リモートコンデンサ 3φ 200V 50HZ 0.065KW×2	1	

20. Z-23 微小生物培養実験室

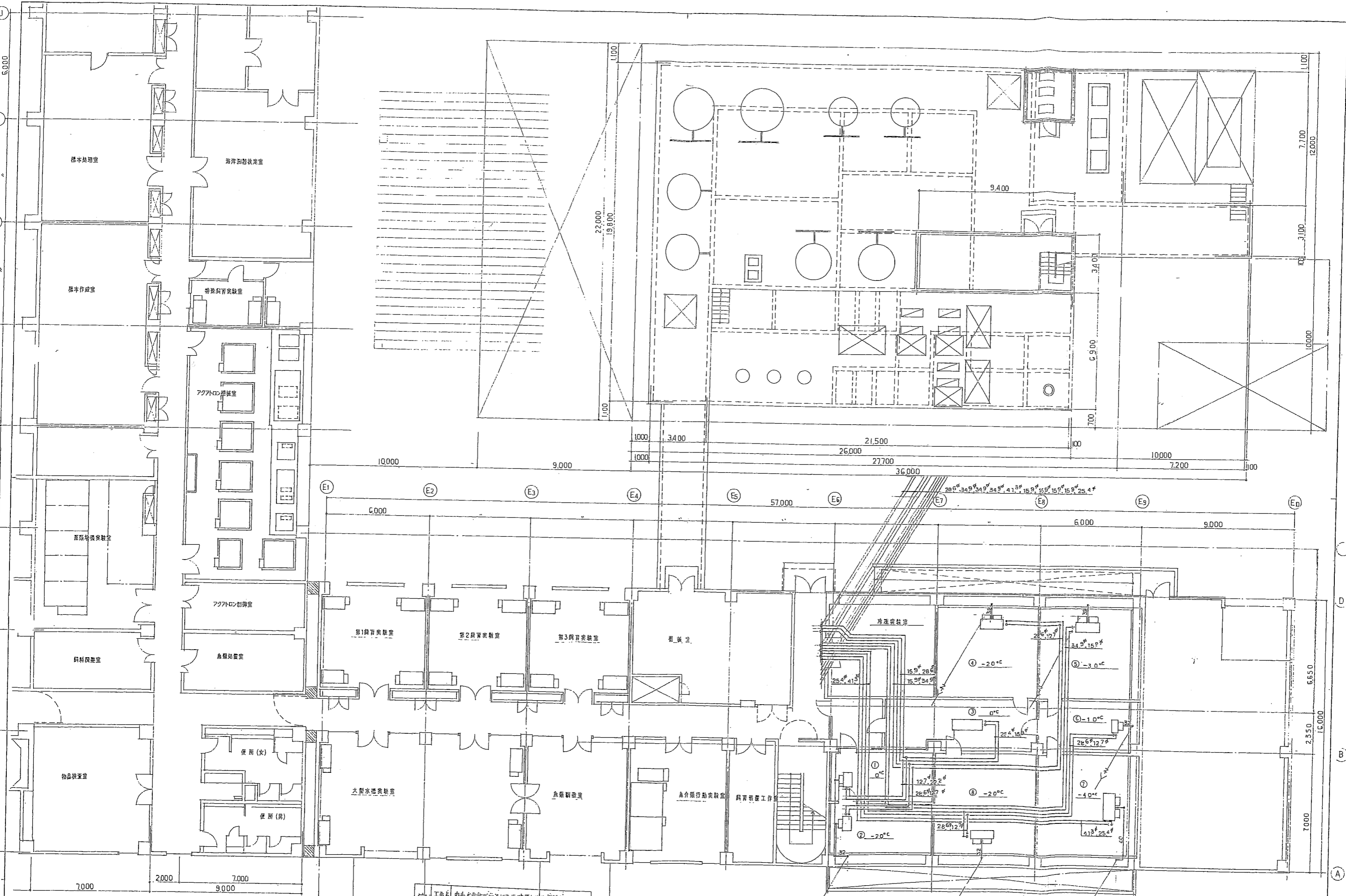
記号	品名	製造者名	形番、形式、容量又は出力、その他	数量	備考
	操作盤	小糸工業	銅板製自立型 3φ 3W 200V 50HZ 20KVA 1φ 3W 200/100V 50HZ 5KVA	1	
ACU	冷却・加熱ユニット	日立製作所	SG3000SA-9206 送風機:1φ 200V 50HZ 0.012KW×4 冷却能力:4,400kcal/h 加熱能力:6,400kcal/h 電気ヒータ:3φ 200V 7.5KW	1	
RU	冷凍機ユニット		300S2-SLS 空冷式/外置型 3φ 200V 50HZ 2.2KW 冷媒:R-22	1	
			冷凍能力:5,000kcal/h ET:-5℃		
	加湿器	エアマテック	DME-9 電極式ユニット型加湿器 (自動ブロー式) 加湿量:7.5kg/h	1	

21. Z-24 α線測定室

記号	品名	製造者名	形番、形式、容量又は出力、その他	数量	備考
	操作盤	小糸工業	銅板製自立型 3φ 3W 200V 50HZ 42KVA 1φ 3W 200/100V 5KVA	1	
ACU	空気調和機	小糸工業	送風機:3φ 200V 50HZ 0.35KW×2 風量:40m ³ /min 静圧:31mmH ₂ O 冷却容量:9,800+7,000kcal/h 加熱容量:13,000kcal/h 電気ヒータ:3φ 200V 16KW	2	
RU-1	冷凍機ユニット	日立製作所	502S2-FLR 半密閉型往復動式 3φ 200V 50HZ 3.75KW 冷媒:R-22	2	
RU-2				冷凍能力:11,100kcal/h ET:-5℃	
RC-1	冷凍機用コンデンサ	日立製作所	RCR-750N 空冷式/外形リモートコンデンサ 3φ 200V 50HZ 0.15KW	2	
RC-2					
	加湿器	エアマテック	DME-9 電極式ユニット型加湿器 (自動ブロー式) 3φ 200V 6KW 加湿量:7.5kg/h	1	
	給気ユニット	小糸工業	送風機:ミニシロッコファン 1φ 200V 0.045KW 風量:90m ³ /h 静圧:13mmH ₂ O	1	
	排気ユニット	小糸工業	送風機:ミニシロッコファン 1φ 200V 0.045KW 風量:90m ³ /h 静圧:13mmH ₂ O	1	

完成図	工事名 中央水産研究所機械設備(空調)工事	図面番号 183	工務所 ダイワ株式会社	工事番号 05年5月31日
	所在地 横浜市金沢区福浦2-12-4	図面 R	図面 ダイワ株式会社	切図番号 05年5月31日
	図面 クリーンルーム	年月日 平成5年5月31日	図面 ダイワ株式会社	切図番号 05年5月31日
	内容 恒温恒湿室機器表(4)製作者 野中保生		図面 ダイワ株式会社	切図番号 05年5月31日

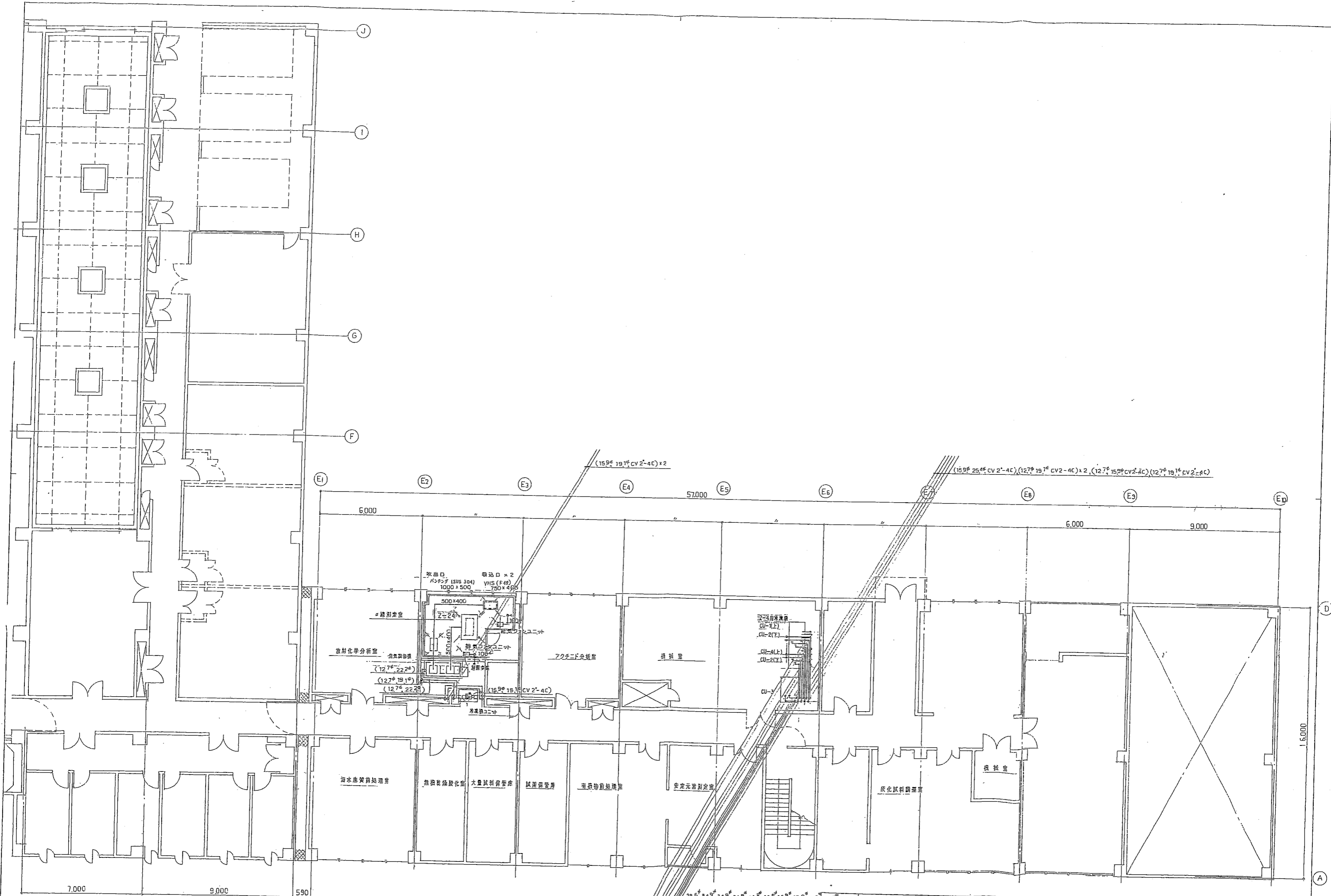
SCALE 1/



完成	工名	中央水産研究所機械設備(空調)工事	図番	184
	所在	横浜市金沢区都筑2-12-4	縮尺	1/100
	図面	実験棟1階	作成	昭和45年5月31日
	内容	冷蔵庫内冷媒配管	設計	野中保生

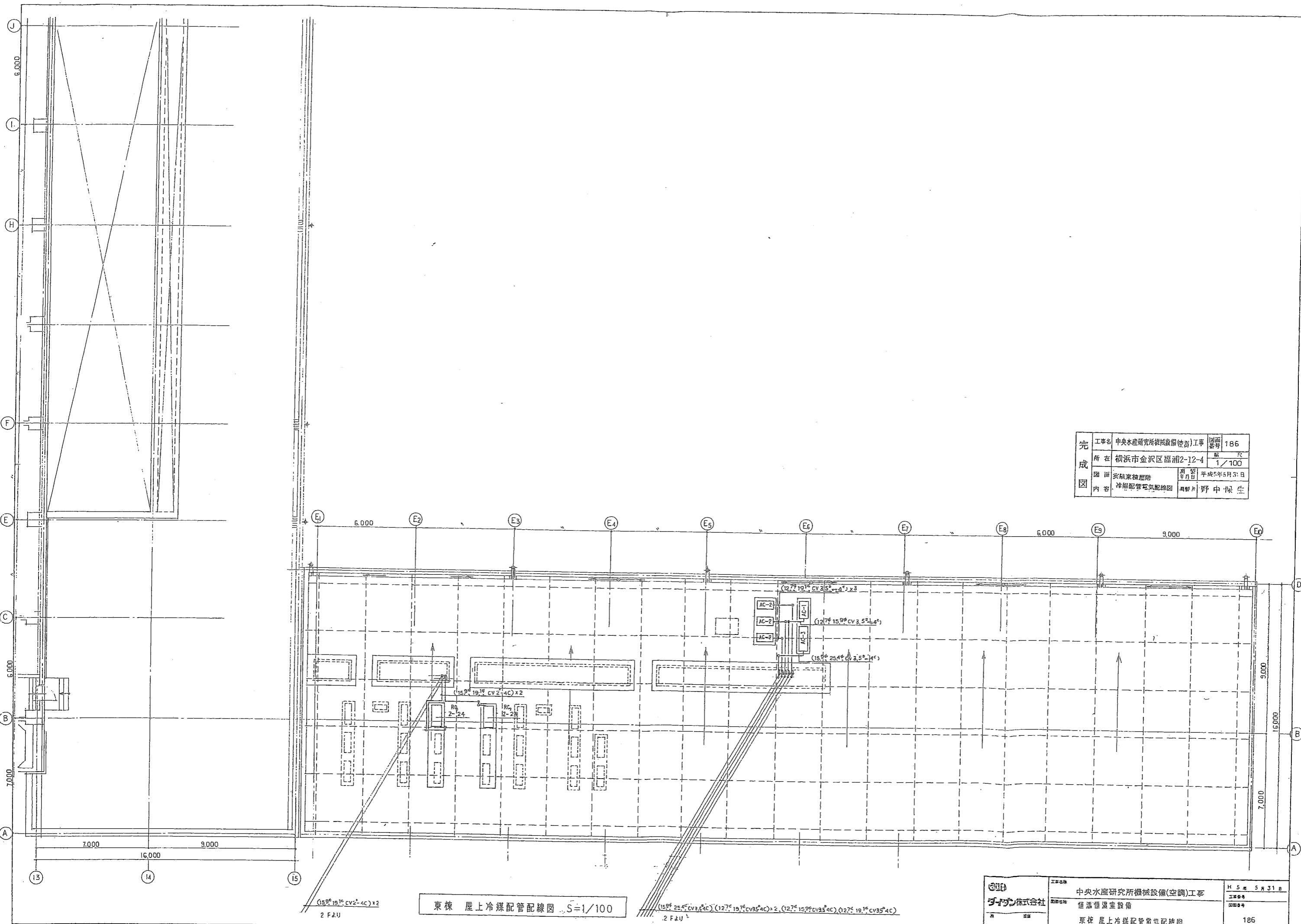
東棟 1階冷蔵庫内冷媒配管図 S=1/100

 三井物産株式会社	中央水産研究所機械設備(空調)工事 恒温恒湿室設備 東棟 1階冷蔵庫内冷媒配管図 SCALE 1/100	H 5 5 3 1 日 184
--------------	---	--------------------



京棟 2階冷媒配管配線図 S=1/100

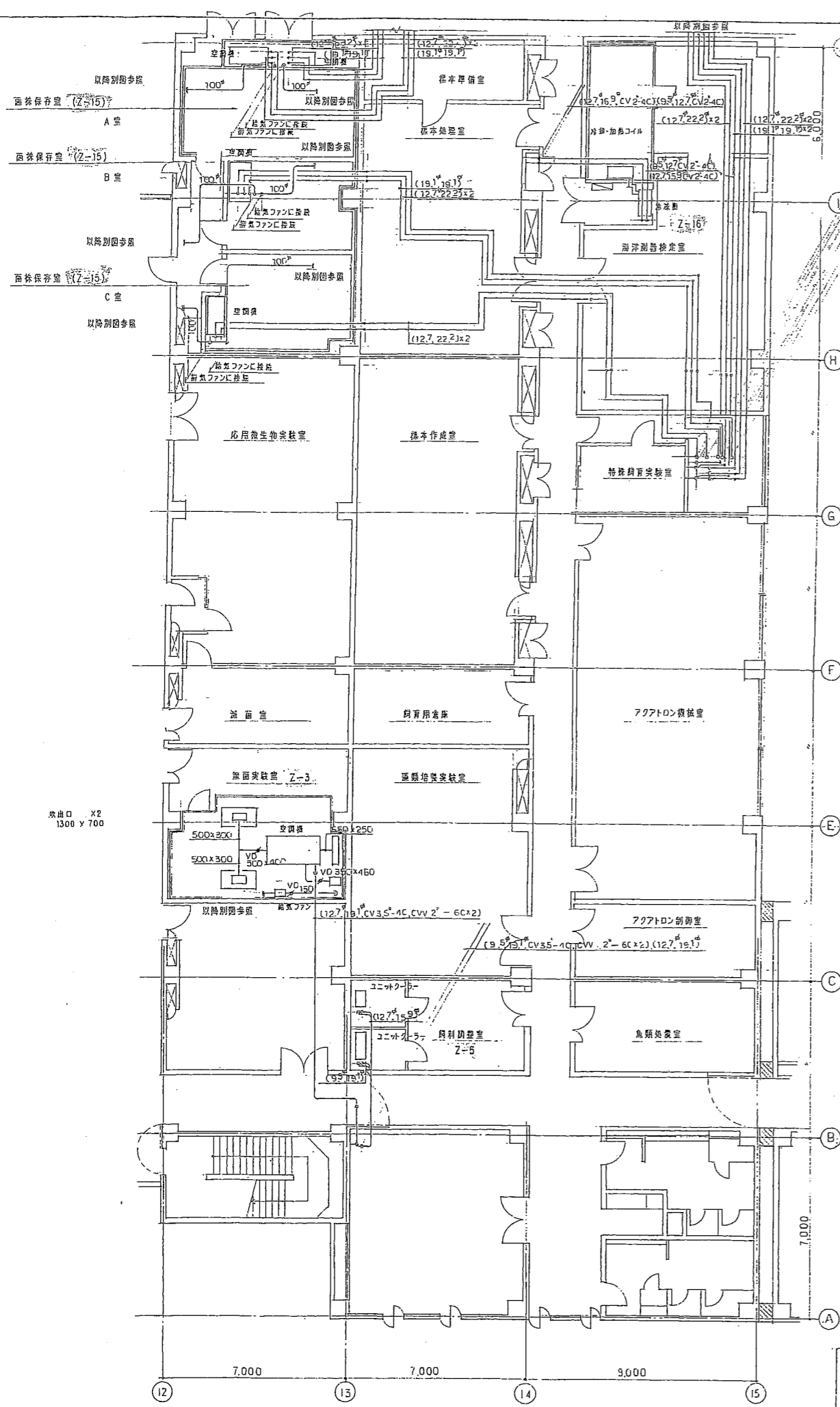
完成	工事名	中央水産研究所機械設備(空調)工事	図番	185
	所在	横浜市金沢区福浦2-12-4	縮尺	1/100
図面	内容	冷媒配管電気配線図	設計者	野中 保生
	年月日	平成5年5月31日	校核者	
株式会社 				工事名称 中央水産研究所機械設備(空調)工事 恒温室設備 京棟 2階冷媒配管電気配線図 185



完成図	工事名	中央水産研究所機械設備(空調)工事	図面番号	186
	所在	横浜市金沢区福浦2-12-4	縮尺	1/100
	図面内容	空調棟屋上冷媒配管配線図	製図年月日	平成5年5月31日
			製図者	野中保生

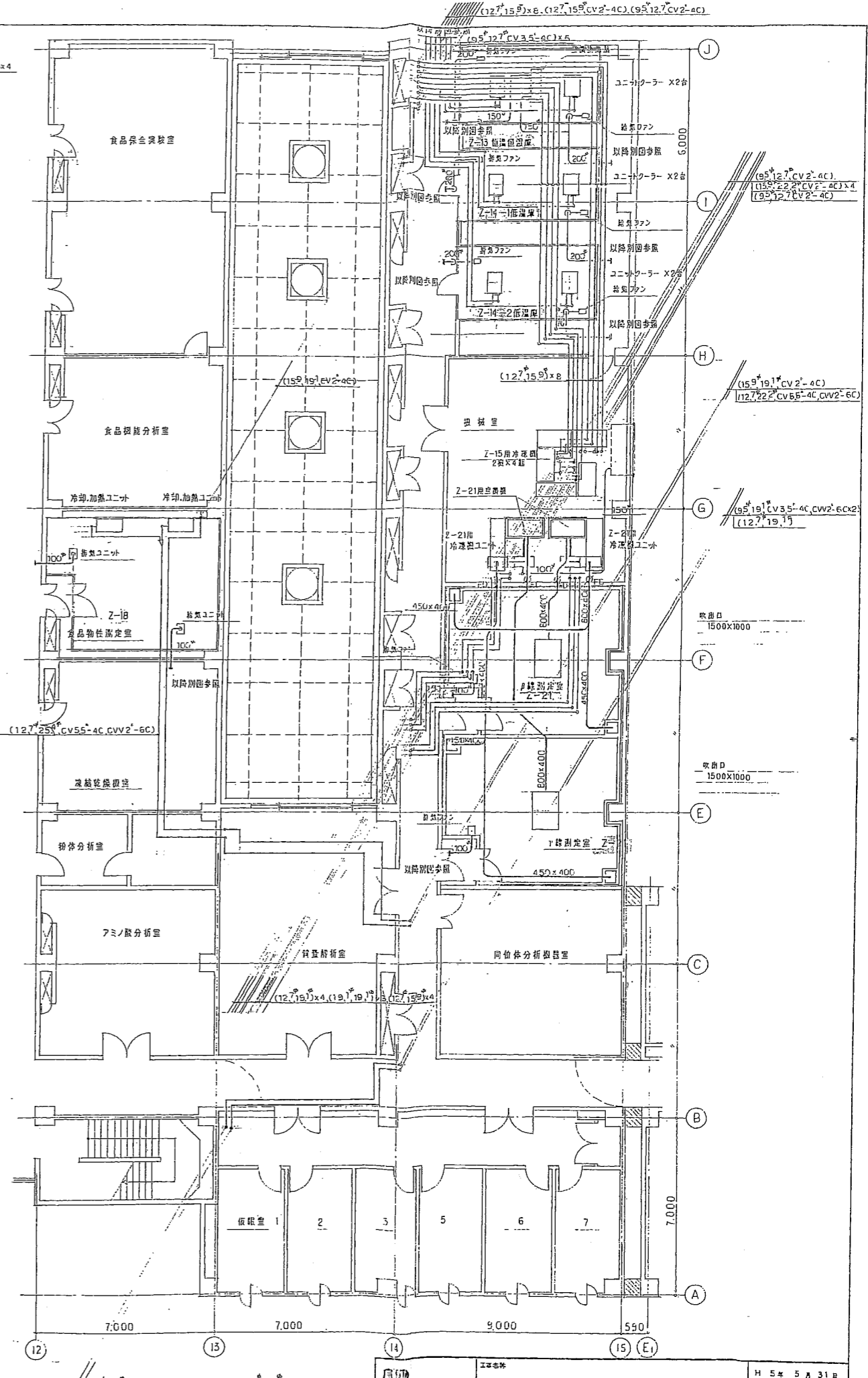
東棟 屋上冷媒配管配線図 S=1/100

株式会社 ガイジン	工事名称	中央水産研究所機械設備(空調)工事	日付	H 5 年 5 月 31 日
	設備名称	恒温恒湿室設備	工事番号	
	図面内容	東棟 屋上冷媒配管配線図	図面番号	186
SCALE 1/100				



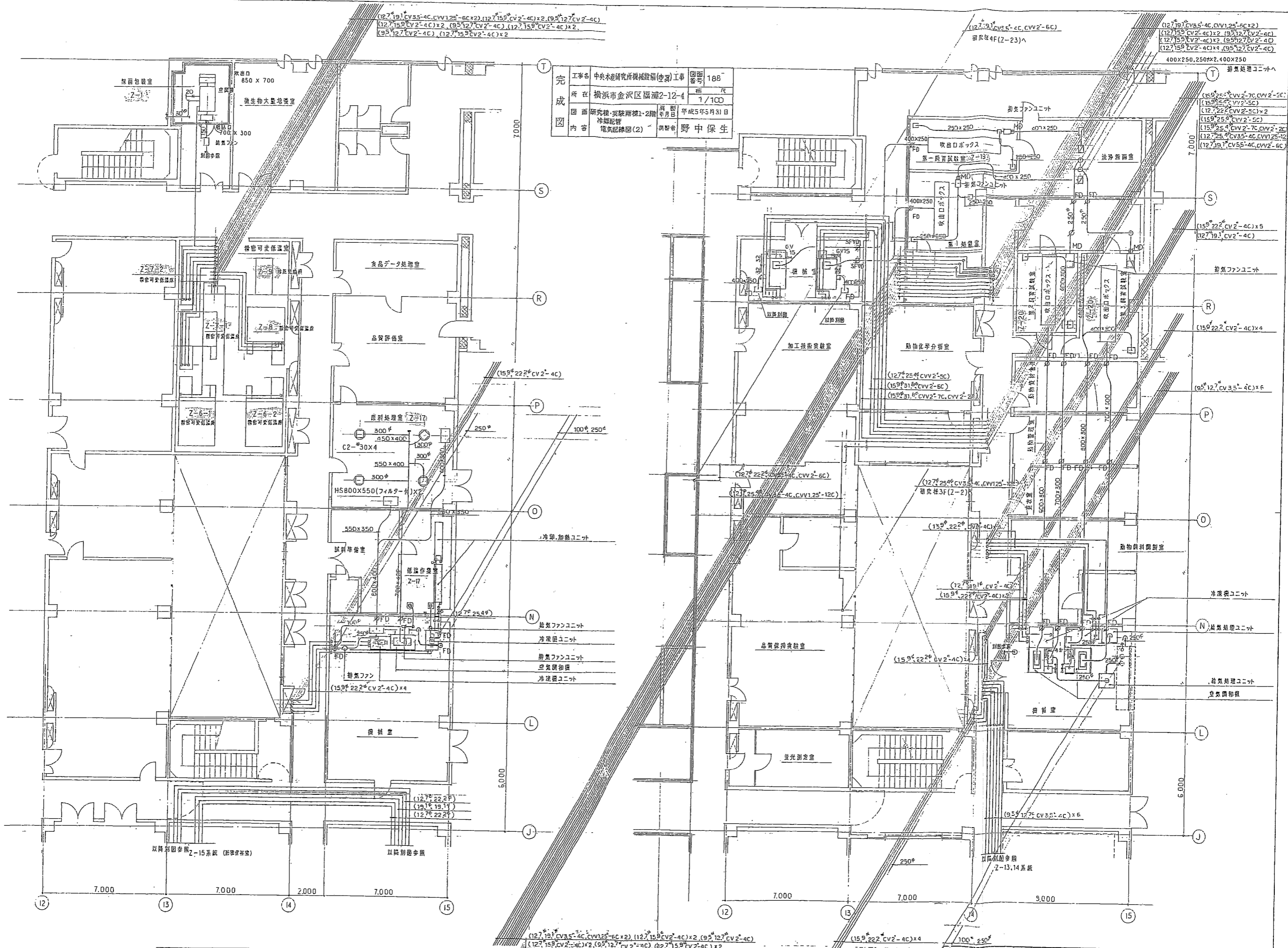
研究棟,南棟1階 冷媒配管配線図 S=1/100

完成	工事名	中央本産研究海産物調査(受費)工事	図面番号	187
	所在地	横浜市金沢区船越2-12-4	縮尺	1/100
	図面	研究棟・実験棟1・2階	作成日	平成5年5月31日
	内容	冷媒配管	設計者	野中保生



研究棟,南棟2階 冷媒配管配線図

 株式会社 ガイジン	工事名 恒温恒湿室設備	工事番号 H 5 年 5 月 31 日
	図面内容 研究棟 南棟 1,2階 冷媒配管電気配線図	図面番号 187

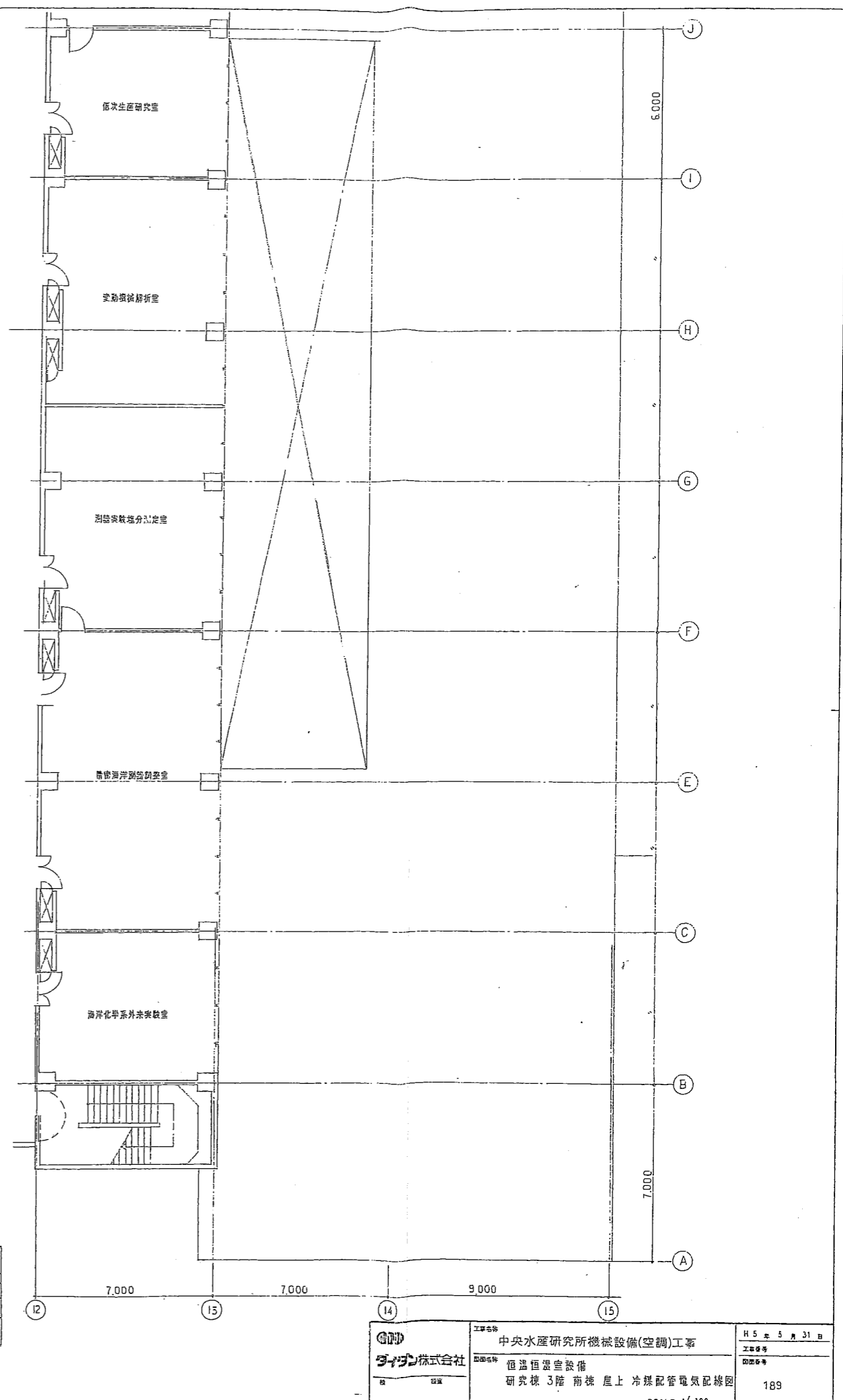
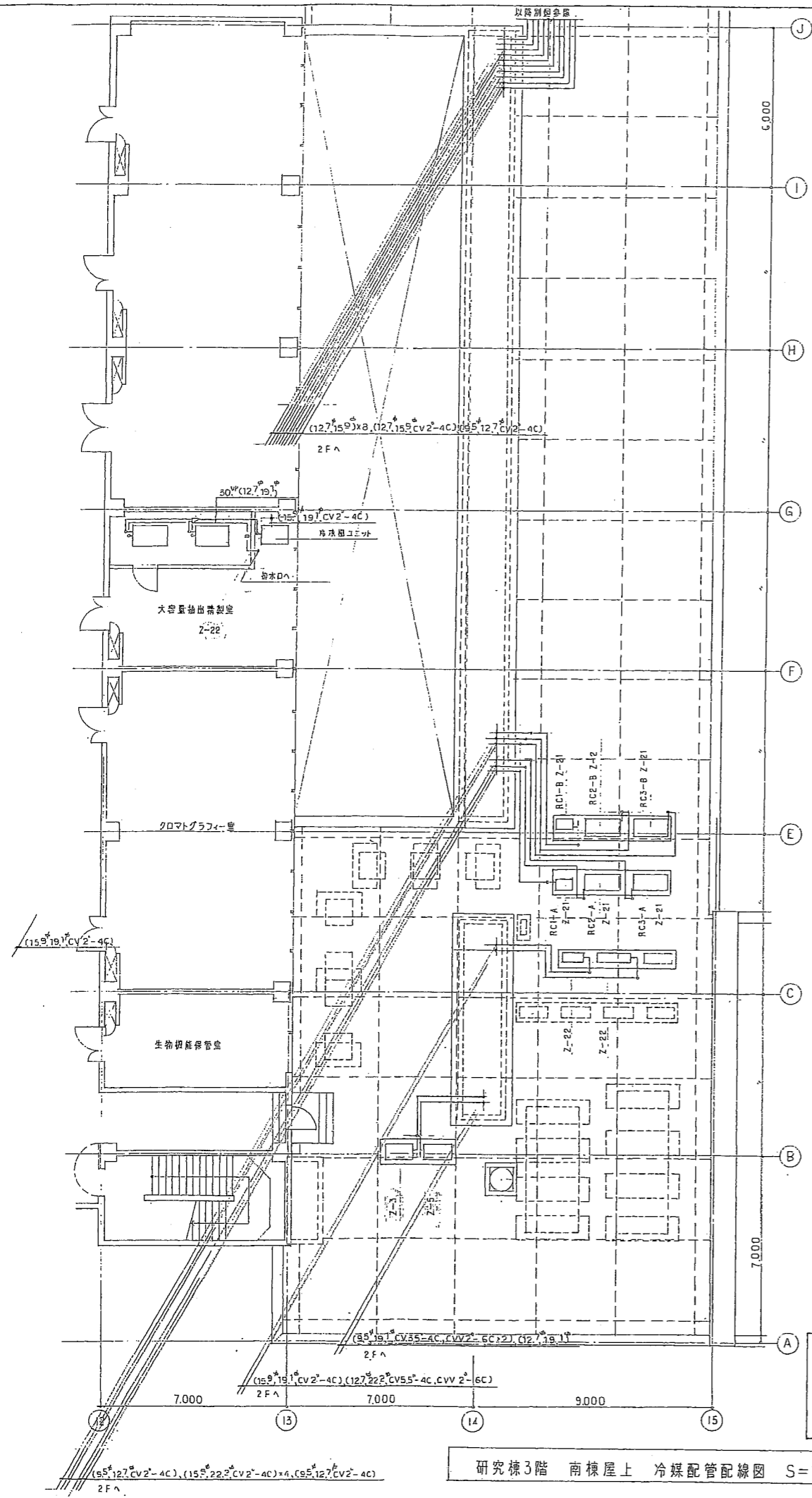


完成	工事名	中央水産研究所機械設備(空調)工事	図面番号	188
	所在	横浜市金沢区福浦2-12-4	縮尺	1/100
	図面	研究棟・実験階1・2階	発行年月日	平成5年5月31日
	内容	冷暖配管(2)	製図者	野中保生

研究棟,南棟1階 冷媒配管配線図 S=1/100

研究棟,南棟2階 冷媒配管配線図 S=1/100

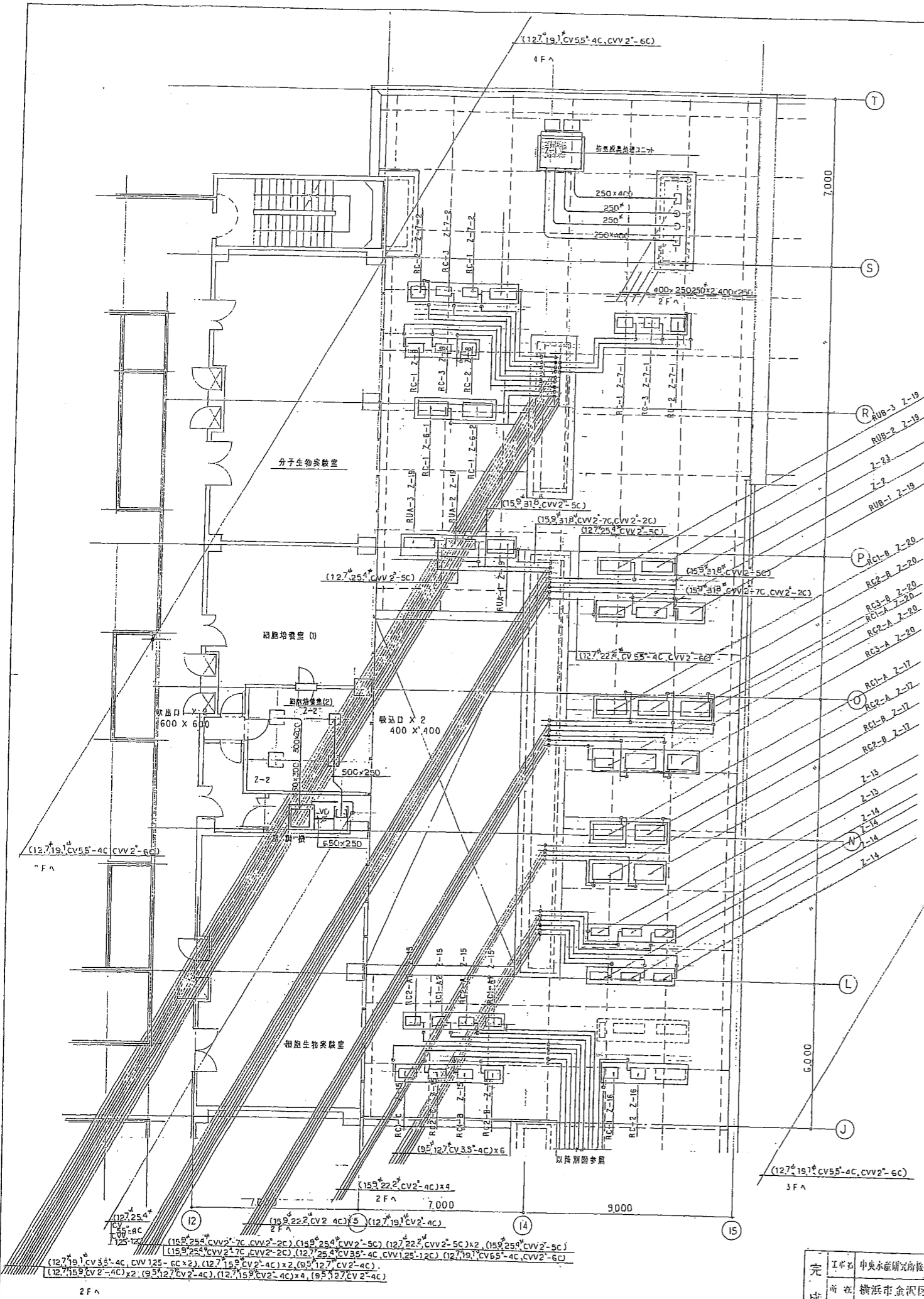
	設計者	野中保生	工事名称	中央水産研究所機械設備(空調)工事
	図面番号	188	工事内容	恒温恒湿室設備
	図面内容	研究棟,南棟 1,2階冷暖配管電気配線図	図面番号	188
	縮尺	1/100	発行年月日	平成5年5月31日



完成	工事名	中央水産研究所機械設備(空調)工事	図面	189
図	所在地	横浜市金沢区福浦2-12-4	縮尺	1/100
内容	研究棟3階 実験装置設置 冷暖配管電気配線図	製 年月日	平成5年5月31日	野中保生

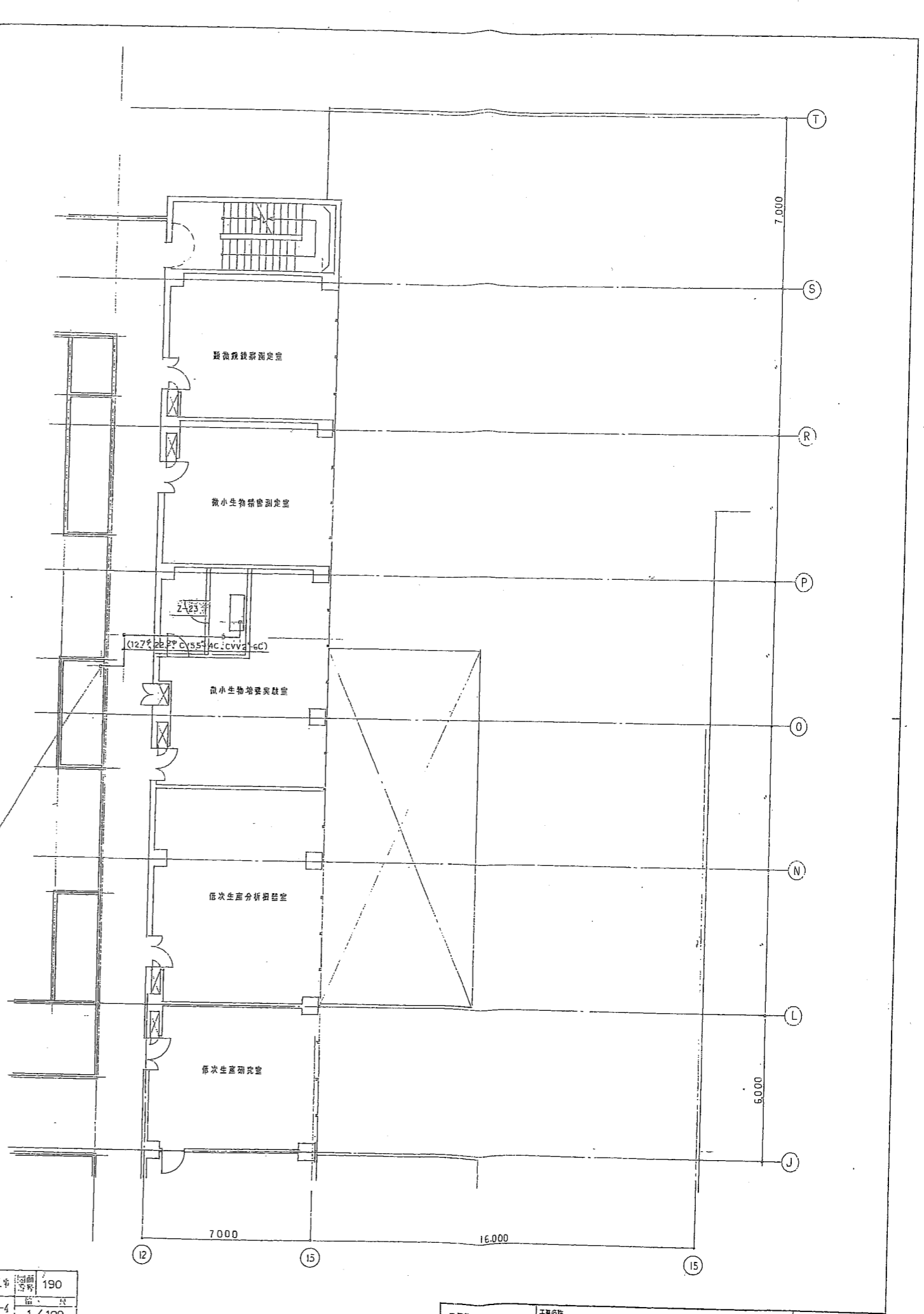
研究棟3階 南棟屋上 冷媒配管配線図 S=1/100

 株式会社	工事名称	中央水産研究所機械設備(空調)工事	日付	H5年5月31日
	図面内容	恒温恒湿室設備 研究棟3階 南棟 屋上 冷媒配管電気配線図	図面番号	189
			SCALE 1/100	



研究棟3階 南棟屋上 冷媒配管配線図 S=1/100

完成	工事名	中央水産研究所機械設備(空調)工事	図番	190
図面	所在地	横浜市金沢区福淵2-12-4	縮尺	1/100
内容	図面	研究棟3・4階 実験棟屋上 冷媒配管電気配線図	作成	平成5年5月31日
			設計者	野中 保生



研究棟4階 冷媒配管配線図 S=1/100

 株式会社	工事名	中央水産研究所機械設備(空調)工事	日付	H5年5月31日
	図面	恒溫恒湿室設備 研究棟3.4階 南棟 屋上冷媒配管電気配線図	縮尺	SCALE 1/100
			図番	190

水温調節設備 設計条件

海水系条件

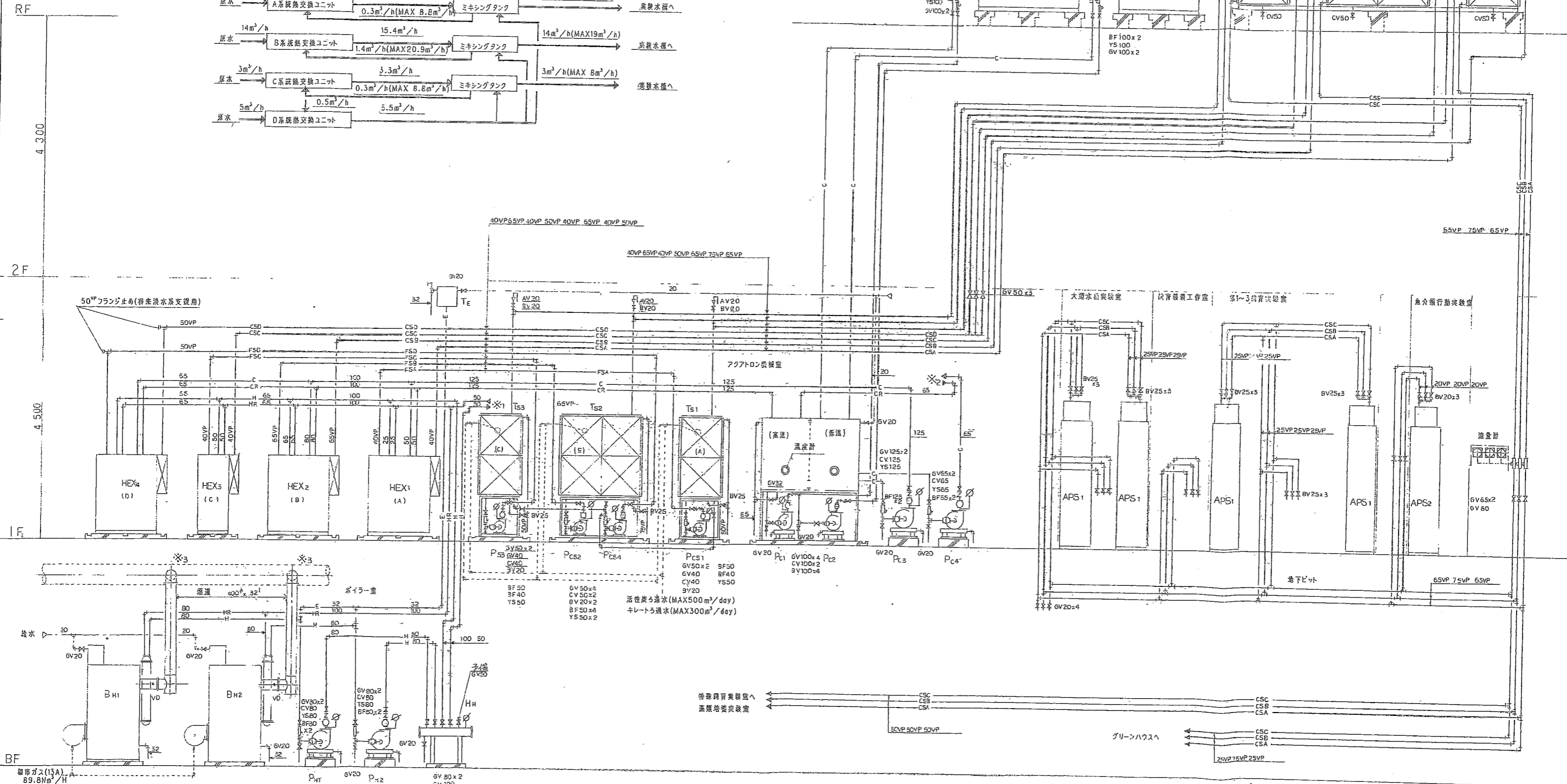
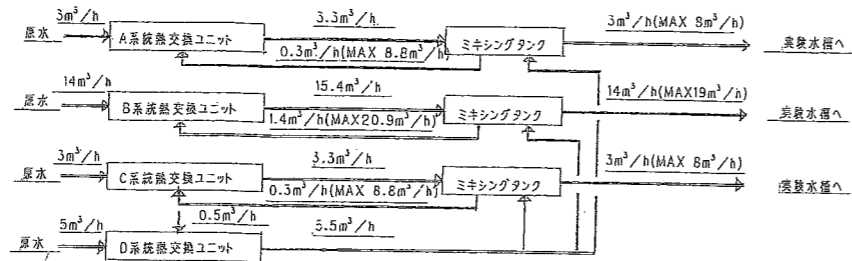
調温海水系条件表

原海水温度 夏期:28℃ 冬期:5℃

系統	温度制御範囲	制御精度	熱源/冷却	使用流量	取水方式
A	10℃	±1℃	加熱/冷却	3m³/h	かけ流し
B	18℃	"	加熱/冷却	14m³/h	"
C	28℃	"	加熱	3m³/h	"
D(支援)	10~28℃	"	加熱/冷却	5m³/h	"

※ 制御精度はミキシングタンク出口温度にて。

海水系図



熱源及び調温海水配管系統図 NO SCALE

完成	工事名	中央水産研究所機械設備(空調)工事	図面番号	202
図	所在	横浜市金沢区福浦2-12-4	図	1
	図面内容	水温調節設備 熱源及び調温海水配管系統図	平成5年5月31日	
図	内容	野中 保	野中 保	

中央水産研究所機械設備(空調)工事
水温調節設備 熱源及び調温海水配管系統図
H 5月 31日
202

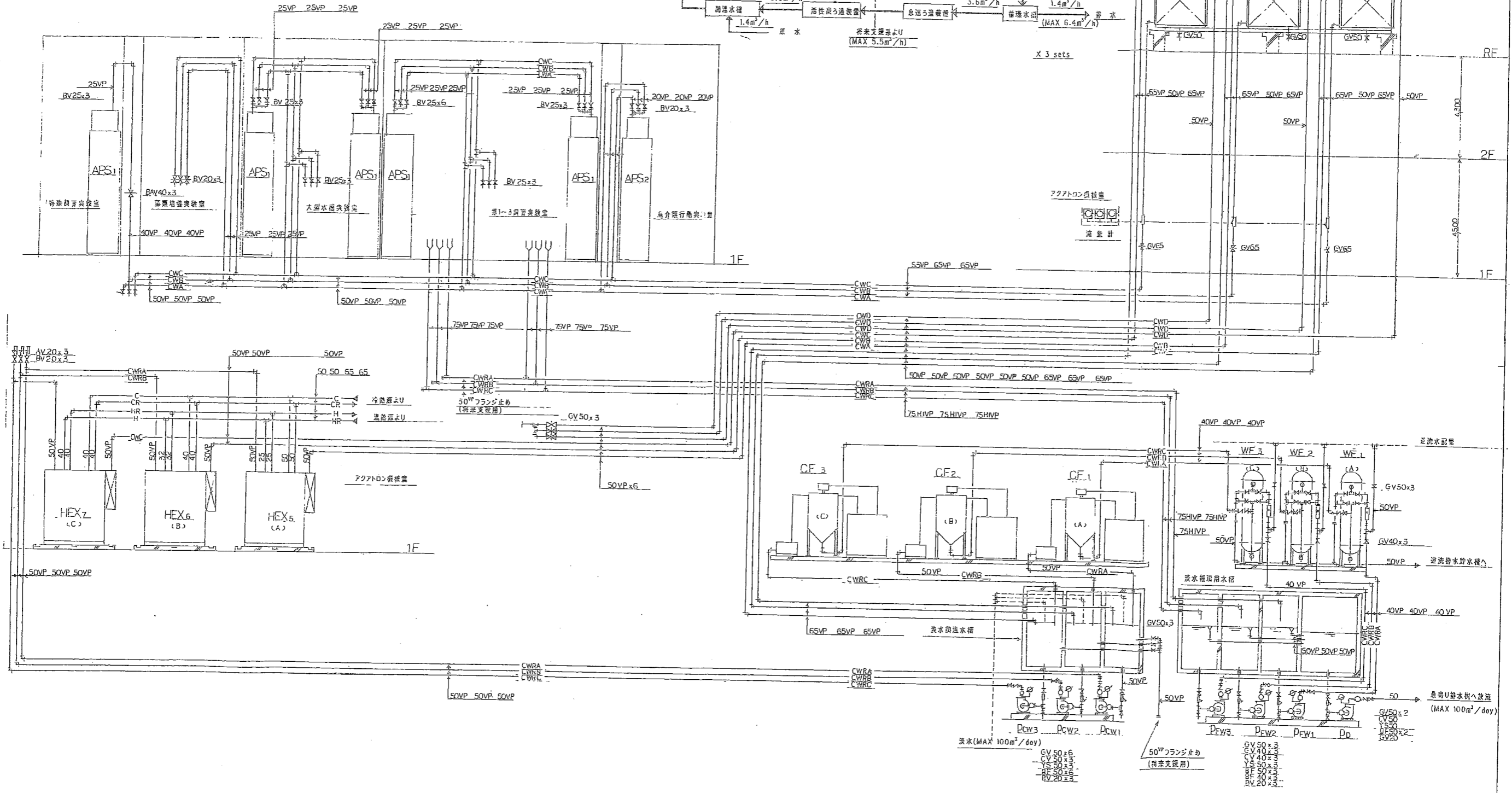
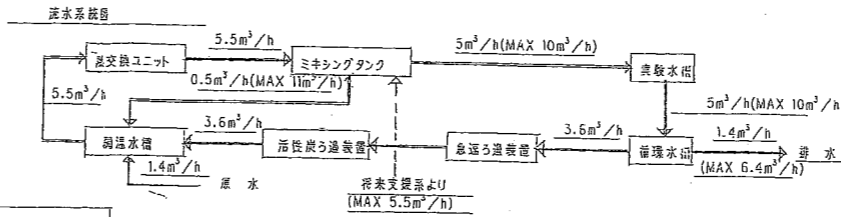
※1,2: 淡水系熱交換ユニット(HEX₅-HEX₇)へ

水温調節設備 設計条件

調温淡水条件表

系統	温度制御範囲	制御精度	熱操作	使用流量	流水方式	補給水量
A	10℃	±1℃	加熱、冷却	5m ³ /h	循環式	1.4m ³ /h
B	18~20℃	"	"	5m ³ /h	"	1.4m ³ /h
C	18~30℃	"	"	5m ³ /h	"	1.4m ³ /h

* 制御精度はミキシングタンク出口温度にて。



調温淡水配管系統図 NO SCALE

完成	工事名	中央水産研究所機械設備(空調)工事	図面番号	203
図面	所在	横浜市金沢区福浦2-12-4	図面	調
内容	図面	水温調節設備	図面	調温淡水配管系統図
	作成日	平成5年5月31日	作成者	野中保生

<p>ギンタン株式会社</p>	工事名 中央水産研究所機械設備(空調)工事	日付 平成5年5月31日
	図面内容 水温調節設備 調温淡水配管系統図	図面番号 203

SCALE 1/